



美術史・芸術史

学術洋書史資料集カタログ

Edition Synapse / Eureka Press



- ジャポニスム
- 美術史
- 建築史
- 広告デザイン
- 服飾史
- 漫画史
- アメリカ大衆音楽史



CONTENTS

英国のジャポニスム：ヴィクトリア朝・エドワード朝期雑誌・新聞記事集成	
Japonisme in Britain, Selected Articles from British Periodicals, 1825-1911	1
ジョサイア・コンドル英文著作および関連資料集成 Collected English Writings of Josiah Conder	2
ウィリアム・モリスの芸術と社会主義運動：同時代パンフレット復刻集成	
William Morris, Art and Socialist Movements: A Collection of Contemporary Pamphlets	4
パリ装飾芸術美術館浮世絵版画展 1909-1914 年 全図録集成	
Estantes japonaises, tirées de diverses collections et exposées au Musée des Arts Décoratifs de Paris 1909-1914	6
フェノロサ手稿「日本絵画蒐集作品解説付総目録」復刻・翻刻・邦訳集成	
Complete Catalogue of Collection of Specimens of Japanese Art including Notes and Commentaries and Reference to the Other Note Books belonging to the Collector, by Ernest Francisco Fenollosa	8
フェノロサ英文著作集 Ernest Francisco Fenollosa: Published Writings in English	9
ジャパン・イラストレイテッド Japan Illustrated, 1934-38	10
ジェームズ・ロード・ボウズ：日本美術工芸関連著作集成	
Collected Works of James Lord Bowes on Japanese Art	12
フランス人コレクターの日本美術品売立目録 Catalogues des Ventes des Collections d'Art Japonais	14
ヴィクトリア朝 産業デザイン・技術教育百科	
The Technical Educator: An Encyclopaedia of Technical Education	15
ジュディット・ゴートイエー日本・中国趣味著作集＋別巻『蜻蛉集』	
Le Japon et la Chine dans les œuvres de Judith Gautier + Poèmes de la libellule	16
ヨネ・ノグチ（野口米次郎）英文著作集 第2集：浮世絵および日本美術評論集	
Books on Ukiyoe and Japanese Arts in English by Yone Noguchi	17
ニューオーリンズ万国博覧会（1884-1885） World's Fairs in the American South, Part 1: New Orleans 1884-1885	18
日英博覧会（1910年）－公式史料と関連文献集成－ The Japan-British Exhibition of 1910	19
1862年国際博覧会（第2回ロンドン万国博覧会）資料総覧 The International Exhibition of 1862, London	20
フィラデルフィア万国博覧会（1876年）－公式資料と日本関連文献集成－	
International Exhibition of 1876 in Philadelphia	21
ワールド・イン・ミニチュア－日本・中国・東南アジア・南洋諸島－	
The World in Miniature; Japan, China, The Asiatic Islands and New Holland, & South Sea Islands	22
写真図説 イギリスの邸宅建築と庭園 English Homes & Gardens, 10 volumes	24
英国芸術家列伝 The Lives of the Most Eminent British Painters, Sculptors, and Architects	25
ヴィクトリア朝の生活と芸術 The Art at Home	26
ヴィクトリア期女性の「美とファッション」 Women, Beauty & Fashion	27
広告とモダン・アート Advertisement and Modern Art in Early Twentieth-Century England	28
アメリカ近代広告の成立 Library of Advertising	29
万国風刺漫画大全 Caricatures and Cartoons	30
minstrel ショーと音楽－アメリカ初期資料集成－ Minstrel Shows and Songs	32
アメリカ黒人霊歌 American Negro Spirituals	33
ファン誌選集コレクション FUN - A Collection of Books from the Victorian Weekly Magazine	34
マリオ・プラッツ編 文学、歴史、芸術の饗宴	
English Miscellany: A Symposium of Literature, History and Arts, Edited by Mario Praz	35

英国のジャポニズム

ヴィクトリア朝・エドワード朝期雑誌・新聞記事集成 全 3 巻＋別冊日本語解説

Japonisme in Britain, Selected Articles from British Periodicals, 1825-1911

編集・解説■ 小野文子（信州大学准教授）

前文■ マーガレット・F・マクドナルド（グラスゴー大学名誉教授）

2022 年 1 月刊行 A4 判・全約 850 頁（図版多数） 限定 100 部

本体セット価 ¥98,000-（＋税） ISBN: 978-4-86166-224-9



新刊

←収録内容詳細はこちらから
ご覧いただけます。

- 日本美術・工芸品の人気の高まるヴィクトリア朝の前期から、日英博覧会が開催されエドワード朝が終わりを迎える 20 世紀初頭に、英国の定期刊行物に発表された日本芸術・美術工芸・建築に関する文献約 150 点を復刻集成する資料コレクション。
- シリーズ第 1 回配本（英文単行本集成）に収録した、オルコック、ジャーヴス、アンダーソン、ヒュイッシュら英語圏ジャポニズムの立役者や、リバティー、ピニョン、フライ等この時代の著名文化人が主要美術雑誌に執筆した記事をはじめ、評論誌、文芸誌に掲載された評論や書評などを 25 タイトル以上の雑誌、新聞から選書。また、専門家の論評だけでなく、ロンドン万国博覧会やジャポニズム期の日本美術展についての多くの無署名記事等も加え、英国での日本美術・工芸の初期受容史を、同時代の多様な文献で通観することを可能にする。
- ホイッスラー研究の第一人者マーガレット・F・マクドナルド氏の前文および編者（Routledge 刊 *Japonisme in Britain - Whistler, Menpes, Henry, Hornel and Nineteenth-century Japan* の著者）による解説（英語および日本語）を含み、ジャポニズム研究のみならず、広く英国での日本文化受容史研究・教育用の資料として貴重な資料集。



FROM A MODERN JAPANESE CARVING

推薦文 馬淵明子（ジャポニズム学会顧問・日本女子大学名誉教授）

このたび、『英国のジャポニズム — ヴィクトリア朝・エドワード朝雑誌・新聞記事集成』が刊行の運びとなった。言うまでもなく、19 世紀の英国は、中国をはじめとするアジアへの経済的・外交的な高い関心のもとに、多くの人材を派遣し、情報収集に努めた。日本の鎖国政策はそうした英国の姿勢に対して長い間高い壁であり続けたのだが、彼らは開国前後には他の西欧諸国に先んじていち早く多くの情報を得、またその分析に取り組んでいる。今回刊行される論文や記事は、日本では入手できない雑誌や新聞を含み、日本の開国前後から日英博覧会が行われた 1910 年頃までをターゲットに、長い期間の英国の日本文化、日本美術観を読み解くための、極めて有効な試みと言えよう。

日本の文物が流入して、いち早くジャポニズムを展開したのも英国はフランスと並んで最も早い国の一つだった。外交官や旅行者として来日し、質の高いコレクションを形成した人々のみならず、お雇いとして日本に生活の拠点をもち本格的に日本美術を学んだアンダーソンのような人物もいて、いっぽう美術家たちはその強い好奇心から新しい造形原理をかぎつけた。

このシリーズで、英国の人々が日本と日本美術に何を見、どんなジャポニズムを生み出したのか、さらに研究が深まることを期待する。そしてこれだけの貴重な資料を惜しみなく提供して下さった小野文子氏に心から感謝したい。



TEMPLE, &c., AT THE JAPANESE VILLAGE.

ジョサイア・コンドル

英文著作および関連資料集成

【復刻集成版】 全4巻＋別冊日本語解説

Collected English Writings of Josiah Conder

●監修● 山口静一（埼玉大学名誉教授）

●解説● 山口静一 & 顚原澄子氏（千葉大学工学研究院准教授）

2019年11月刊行 本体セット価：148,000円（＋税） ISBN:978-4-86166-211-9

限定80部 判型：B5判（Vol. 1 & 2）・B4判（Vol. 3 & 4）・全約1,250頁 図版多数（カラー&白黒）

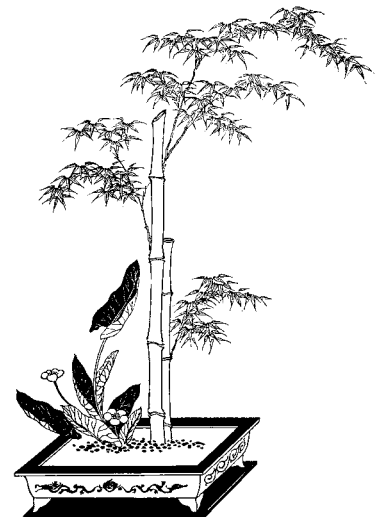
- 鹿鳴館、三菱一号館、ニコライ堂などを設計し、近代建築学の礎を日本で築いたジョサイア・コンドルの英文著作および関連文献計65点を図版（一部カラー）含め復刻する初の著作集。
- 数多くの日本建築論をはじめ、日本の服飾、生け花、芸術論など英文紙・誌に発表した記事・論文を網羅。濃尾地震後の建築物被害に関する報告、クリストファー・ドレッサーやF・T・ビゴットとの芸術論争、国内外で報じられたコンドル死亡記事や死後のコレクションの売り立て目録など関連資料も多数収録。
- 日本画の師河鍋暁斎の没後に発表された大著、*Paintings and Studies by Kawanabe Kyosai* 及びコンドル死後にコンドル博士記念表彰会が編集出版した写真・図版集は、コンドルの日光、京都訪問時のスケッチなど、カラー図版含め原寸復刻。

明治10年に御雇外国人として工部大学校造家科（現：東京大学工学部建築学科）に赴任した英国人コンドルは、建築学教授として辰野金吾、片山東熊ら日本草創期の建築家を育成するとともに、自身も鹿鳴館や三菱一号館をはじめ明治日本を代表する西洋建築物の設計を手がけました。ニコライ堂、旧岩崎邸、旧古河庭園、三菱開東閣（旧岩崎弥之助高輪邸）、綱町三井倶楽部、清泉女子大学本館（旧島津家袖ヶ崎邸）、桑名市六華苑（旧諸戸清六邸）など、現存するものは今日貴重な建築文化財となっています。

建築家として活躍する一方でコンドルは日本文化へ強い関心を示しますが、それは単なる日本趣味や古き伝統文化の研究と異なり、服飾、生け花、庭園など明治の人々の生活に生き続ける文化への傾倒でした。工部大学校退官後も日本に残り、日本人女性と結婚したコンドルは、寄席、歌舞伎や日本舞踊の稽古に励み、日本画家河鍋暁斎や遠州流華道に入門、このような実体験を通じ日本を理解し、多数の英文著作を通じそれを海外へ発信します。

この著作集は、それらの内、今日でも入手の可能な大著 *The Flowers of Japan and the Art of Floral Arrangement* (1891)、*Landscape Gardening in Japan* (1893) の二著を除いた、ほぼすべての英文著作を網羅、雑誌、新聞記事含め復刻収録します。海外の建築誌に発表された日本建築に関する論文、1891年の濃尾地震後に訪れた被災地の建築物の調査、クリストファー・ドレッサーや東洋学者F・T・ビゴットとの日本芸術・建築論争、師暁斎の追悼文や多数の大判の図版とともに出版した暁斎論等を収録するとともに、コンドルの業績に触れた海外の記事や死亡記事、没後に日本で編集された建築作品や絵画作品の図版集、そして蒐集美術品の売り立て目録など、日本と西洋の架け橋とした活躍したコンドルの全体像を理解するには不可欠な文献集です。

長くコンドルと河鍋暁斎を研究する山口静一氏による概説「ジョサイア・コンドルおぼえがき」と、顚原澄子氏（千葉大学工学研究院准教授）による建築史研究の視点からの解説が書き下ろされています。



“...このたび集成された成果に接すれば、コンドルという優れた知性と個性を通して、今や失われた日本の伝統文化をまざまざと目にすることができるだろう。”

藤森照信

●収録内容●

第1巻 建築と日本庭園 (B5判・約350頁)

- 1) 英国築家協会 1876年ソーン賞受賞関連文献
- 2) 日本建築関連文献 1878-1879
- 3) クリストファー・ドレッサーとの五重塔論争 1882-1886
- 4) 日本建築関連文献 1883-1887
- 5) 濃尾地震による建築被害調査 1889-1893
- 6) 日本建築関連文献 1890-1901
- 7) 日本建築学会 15周年表彰
- 8) 日本庭園関連文献

第2巻 日本文化と芸術 (B5判・約400頁)

- 1) 日本の服飾関連文献
- 2) 日本美術
- 3) 生け花関連文献
- 4) 売立目録

第3巻 河鍋暁斎論 (B4判・約260頁)

第4巻 コンドル博士記念表彰会編『コンドル博士遺作集』(昭和六年刊)
および英文紙誌の訃報 (B4判・約120頁)

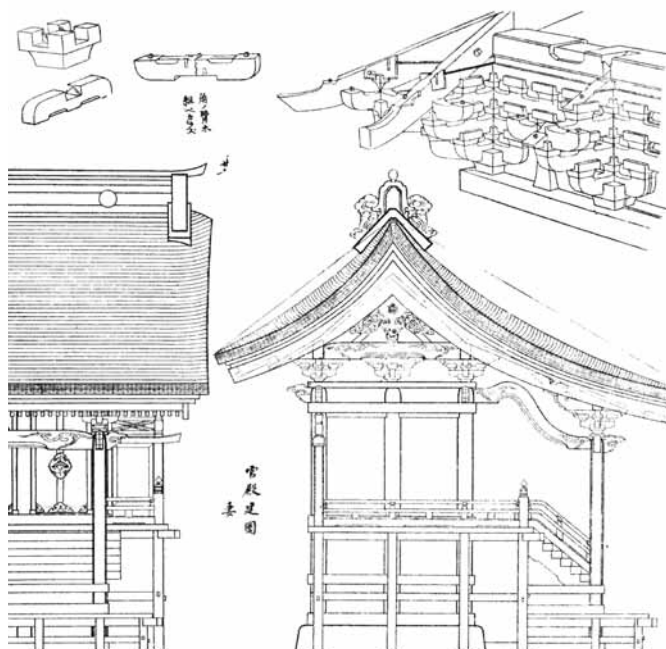
Collection of the Posthumous Works of Dr. Josiah Conder, F.R.I.B.A., Committee of The Memorial Album of Dr. Conder's Posthumous Works, Tokyo, 1932 / 『昭和6年

[英文新聞・雑誌の訃報]

1. *Japan Times and Mail*, June 23, 1920 / 2. *Japan Advertiser*, June 23, 1920 / 3. *The Builder*, Sept. 10, 1920 / 4. *RIBA Journal*, Vol. 27, Sept. 1920 / 5. *The Building News*, Nov. 19, 1920, p. 256

【別冊日本語解説】

1. ジョサイア・コンドルおぼえがき (山口静一)
2. コンドルの著作にみる近代の日本 (額原澄子)
3. ジョサイア・コンドル年譜 (山口静一)



ウィリアム・モリスの芸術と社会主義運動 同時代パンフレット復刻集成

全3巻＋別冊解説（日本語）

William Morris, Art and Socialist Movements: A Collection of Contemporary Pamphlets

●編集・解説● 川端康雄（日本女子大学教授）

2019年9月刊行 A5判・全約1,250頁

本体セット価：98,000円（＋税）※限定100部 ISBN: 978-4-86166-210-2



CONTENTS

Volume 1

I. Socialist Pamphlets Series

1. Hammersmith Socialist Society, *Statement of Principles*, 1893.
2. Scheu, Andreas, *What's to be done? Educate! Agitate! Organise!*, 1892.
3. Morris, William, *Useful Work versus Useless Toil*, 1893.
4. Morris, William, *True and False Society*, 1893.
5. Morris, William, *Monopoly, or How Labour is Robbed*, 1893.
6. Carruthers, John, *Socialism and Radicalism*, 1894.
7. Carruthers, John, *Political Economy of Socialism*, n/d.

II. Miscellaneous Documents related to the Foundation of the Socialist League

1. 'A Word to Our Fellow Workers and the Unemployed in the East End of London', 1883, single-sided broadside.
2. Morris, William, 'The Socialist League - Appeal for Funds', c.1885, single-sided printed leaflet.
3. The Socialist League, *The Socialist League - Hammersmith Branch*, 1885, double-sided leaflet.
4. The Socialist League, *Down with the Socialists!* London: The Socialist League, 1885, double-sided leaflet.
5. Morris, William, and Ernest Belfort Bax, *The Manifesto of the Socialist League* [New edition annotated by W. Morris and E. B. Bax], London: Socialist League Office, 1885, ill. Walter Crane.
6. The Socialist League, *Report of the Third Annual Conference of the Socialist League - Held at 13 Farringdon Road, London, E.C. On Whitsunday May 29, 1887*, London, 1887.
7. The Socialist League, *Annual Report of the Glasgow Branch of the Socialist League*, Glasgow: Horn and Connell, 1887. ill. Walter Crane.
8. The Socialist League, *Report of the Fourth Annual Conference of the Socialist League Held at 13 Farringdon Road, London, E.C., On Whitsunday, May 20, 1888*, London, 1888.
9. The Socialist League, 'Agenda for the Annual Conference of the Socialist League, to be Held at Farringdon Hall, 13 Farringdon Road, E.C., On Whitsunday, May 20th, 1888', London 1888, Broadsheet with manuscript additions.

10. International Socialist Workers & Trade Union Congress, 'Great Demonstration in Favour of International Peace will be held in Hyde Park on Sunday, July 26, 1896', London: Twentieth Century Press, 1896, single-sided broadside.

III. Socialist Platform Series

1. Council of the Socialist League, *Address to the Trades' Unions*, London: Socialist League Office, 1885, ill. Walter Crane.
2. Morris, William, *Useful Work versus Useless Toil*, 1886, ill. Walter Crane.
3. Aveling, Edward, and Eleanor Marx Aveling, *The Factory Hell*, 1885, ill. Walter Crane.
4. Bax, E. Belfort, Victor Dave, and William Morris, *A Short Account of the Commune of Paris*, 1886, ill. Walter Crane.
5. Binning, Thomas, *Organised Labour: The Duty of the Trades' Unions in Relation to Socialism*, 1886, ill. Walter Crane.
6. Morris, William, *True and False Society*, 1888, ill. Walter Crane.
7. Morris, William, *Monopoly; or How Labour is Robbed*, 1890, ill. Arthur Walter Hughes.

Volume 2

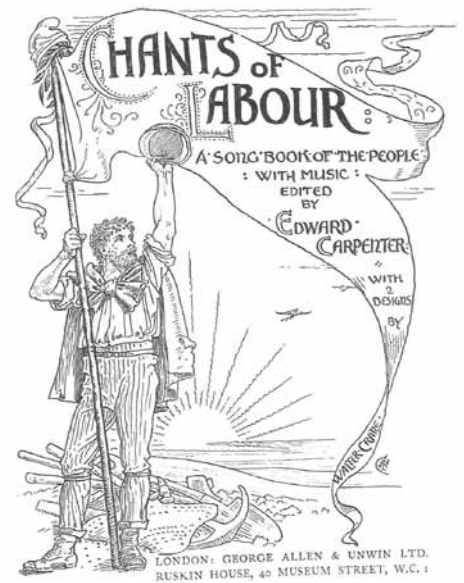
IV. Miscellaneous Pamphlets on Socialism

1. Hyndman, H.M. and William Morris, *A Summary of the Principles of Socialism written for the Democratic Federation*, London: The Modern Press, 1884, ill. William Morris.
2. Morris, William, *The Labour Question from the Socialist Standpoint*, Edinburgh: Co-operative Printing Company, 1886.
3. Morris, William, *The Tables Turned; or, Nupkins Awakened - A Socialist Interlude*, London: Office of The Commonweal, 1887.
4. Morris, William, *A King's Lesson*, Aberdeen: James Leatham, 1891.
5. Morris, William, *Under an Elm-Tree; or Thoughts in the Country-side*, Aberdeen: James Leatham, 1891.
6. Morris, William, *The Reward of Labour: A Dialogue*, London: Hayman, Christy and Lilly, n/d. [1892].

ヴィクトリア朝時代英国を代表する文筆・芸術家であるウィリアム・モリスの文学創作や装飾芸術作品の制作が、彼の社会主義思想と深く関わるものであることはつとに知られています。実際、彼の著作の多くはその活動の拠点となった Socialist League（社会主義同盟）の機関紙やパンフレットなどに当初発表されています。本集は、モリスが所属したこの同盟の公式パンフレットを中心にその周辺で刊行された様々な小冊子類 47 点をまとめる復刻資料集です。

第 1 巻には社会主義同盟の 2 つのパンフレットシリーズ全点とこの同盟の報告書等の史料類、第 2 巻は、モリスおよび彼の盟友たちが発表した社会主義に関する小冊子や、モリス自身も編集に加わった労働歌集など、そして第 3 巻にはモリスが行った社会主義と芸術に関する講演録を収録。

ウォルター・クレインによる挿画入りの冊子やモリス自身がデザインした活字体（ゴールデン・タイプ）によって印刷されたものなど、初出時の版面をできる限り再現し、モリスの思想と芸術の神髄の視覚的な研究や教育の手助けとなるよう編集されています。編者による書下ろし解説（日本語）付きです。



7. Naewiger, Conrad, G. Bernard Shaw, and J. Armden, *The Why I Ams - Why I am a Socialist and an Atheist; Why I am a Social Democrat; Why I am an Individualist Anarchist*, London: James Tochatti, Liberty Press, 1894.
8. Morris, William, and L.S. Bevington, *The Why I Ams - Why I am a Communist; Why I am an Expropriationist*, London: James Tochatti, Liberty Press, 1894, ill. Walter Crane.
9. Morris, William, *The Revolt of Ghent*, Huddersfield: The Worker Office; London: Twentieth Century Press; Manchester: National Labour Press, n/d. [1910].

V. Songs for Socialists

1. Morris, William, *Chants for Socialists*, 2nd ed., London: The Socialist League Office, 1885, 16pp. ill. Walter Crane.
2. J. Bruce Glacier (ed.), *Socialist Songs*, Glasgow: Labour Literature Society 1893.
3. Carpenter, Edward (ed.), *Chants of Labour - A Song Book of the People with Music*, 6th ed., London: George Allen and Unwin, 1922, ill. Walter Crane.

Volume 3

VI. Art and Socialism

1. Morris, William, *Labour and Pleasure versus Labour and Sorrow; An Address at Birmingham Society of Arts and School of Design*, Birmingham: Cund Bros., 1880.
2. Morris, William, *The Socialist Ideal of Art*, London: The New Review, 1891. [A Buxton Forman forgery]
3. Morris, William, *Art and Socialism*, 2nd ed., Leek: E.E.M. and W.L.S., 1884.
4. Morris, William, *Address on the Collection of Paintings of the English Pre-Raphaelite School, Delivered by Mr. William Morris, in the Museum and Art Gallery, on Friday, October 2nd, 1891*, Birmingham: E.C. Osborne and Son, 1891.
5. Morris, William, *International Health Exhibition, Lectures - Textile Fabrics, A Lecture Delivered in the Lecture Room of*

the Exhibition, July 11th, 1884, London: Executive Council of the International Health Exhibition and for the Council of the Society of Arts, 1884.

6. Morris, William, *The Aims of Art*, London: Office of The Commonweal, 1887.
7. Morris, William, *An Address Delivered by William Morris at the Distribution of Prizes to Students of the Birmingham Municipal School of Art on Feb. 21, 1894*, London: Longman, 1898. Printed at the Chiswick Press with the Golden Type designed by William Morris.
8. Morris, William, *Art and the Beauty of the Earth, A Lecture Delivered by William Morris at Burslem Town Hall on October 13, 1881*, London: Longman, 1898. Printed at the Chiswick Press with the Golden Type designed by William Morris.
9. Morris, William, *Some Hints on Pattern Designing, A Lecture Delivered by William Morris at the Working Men's College, London, on December 1881*, London: Longman, 1899, Printed at the Chiswick Press with the Golden Type designed by William Morris.
10. Morris, William, *Architecture and History and Westminster Abbey, A Paper Read before the Society for the Protection of Ancient Buildings, on July 1, 1884*, London: Longman, 1900. Printed at the Chiswick Press with the Golden Type designed by William Morris.
11. Morris, William, *Art and its Producers, A Lecture Delivered in Liverpool in 1888*, London: Longman, 1901, Printed at the Chiswick Press with the Golden Type designed by William Morris.



『ジャポニズムの系譜』第10配本

パリ装飾芸術美術館浮世絵版画展 1909～1914年 全図録集成

【復刻版】図録6点・合本3巻＋別冊解説

Estampes japonaises, tirées de diverses collections et exposées au
Musée des Arts Décoratifs de Paris 1909-1914

Collection des Catalogues dressés par M. Vignier avec la collaboration de M. Inada

【監修・解説（日本語）】南 明日香（相模女子大学教授）

【シリーズ監修】馬淵明子（国立西洋美術館館長）

2018年9月刊行（限定100部） B4判 全3巻・総約950頁（図版約1056点、内カラー約68点）
本体セット価¥148,000-（＋税） ISBN：978-4-86166-203-4



1909年から1914年の6年間、毎年1-2月にパリ装飾芸術美術館にて開催された、大規模な浮世絵版画展の大判図録6点の完全復刻版です。フランス19世紀末ジャポニズムブームの立役者で、後に同館の副館長となるR. ケ克蘭の企画・監修により実現したこの展覧会では、師宣、写楽、歌麿、北斎のような人気浮世絵師から知名度の低い絵師まで約130作者の作品約2300点と関連の書籍を6回に分け展示するという類のないシリーズ展でした。ジャポニズム期を代表する美術商ビング、ラファエル・コラン、アンリ・リヴィエールといった同時代の画家、宝石商アンリ・ヴェヴェールのような美術愛好家など、多彩な日本美術コレクター66名の収集品が出品され、また日本美術の所蔵を始めていたルーヴル美術館とパリ装飾芸術美術館の所蔵品版画も一部展示されました。それまでに開催されていた個人コレクター収集品の日本美術展などとは規模、網羅性でも一線を画し、浮世絵版画史の時代区分に従い系統的に企画された初の浮世絵版画展で、ジャポニズム期の西洋での日本美術受容を明らかにするだけでなく、その後の西洋での浮世絵研究を大きく広げる画期的な展覧会となりました。しかし、6分冊で刊行された展示図録は各限定部数(100～130部)発行の豪華本であったため、図書館、研究機関での所蔵も極めて少なく、その全容を知することは容易ではなく、本展覧会にかんする本格的な研究もまだあまり進んでいません。

今回の出版は余白を詰めますが、原寸に近い大判（B4判）で、カラー図版もすべて収録する初の完全版です。内容は、ケ克蘭による解説（一部共著）と展示品目録および主要作品の図版からなります。目録の編集は、詩人・文学者であると同時に美術商として l'Hôtel Drouot でレイ・ゴンズ収集品など日本美術の競売にも関わったシャルル・ヴィニエが担当し、展示作品の主題と判型、絵師名に加え、版元や彫師、所蔵者名などの情報もわかる範囲で掲載、この時代の西洋での浮世絵版画研究の水準を示しているといえます。ジャポニズム研究、国際浮世絵研究だけでなく、より広く日本美術史、東西文化接触史研究に必携の一次資料です。



推薦文

小林 忠（国際浮世絵学会会長）

従来『ヴィニエ - 稲田版画目録』の名で知られている稀覯書が復刻されるという吉報が届いた。

原書は、ジャポニズムの熱狂がまだ冷めやらない20世紀初頭、1909年から1914年にかけて、6年間6回にわたりパリの装飾芸術美術館で開催された系統的な浮世絵展の、詳細なカタログである。企画者は同館の副館長R・ケクランで、目録の編集にあたったのは、パリの美術商シャルル・ヴィニエと当時遊学中であった京都の美術商稲田賀太郎であった。

全展示作品の目録とそのうちの優品を収めた図版からなる大型図録は、当時のパリを中心とするヨーロッパの浮世絵コレクションの全貌をうかがうに足るものであった。しかしながら、刊行された6分冊は100部から130部という稀少な豪華限定本であり、日本の浮世絵やジャポニズムの研究者も容易に目にすることが叶わない、幻の画集と言って過言ではなかった。それが、ほぼ原書の味わいを損なうことなく再現されるとのことなので、復刻の意義はすこぶる大きく、有難い。

一日も早く手に取って、その床しい風味を味わいたく、全巻の刊行完結を切望している。



●収録内容●

第1巻

Estampes japonaises primitives, exposées au Musée des arts décoratifs en Février 1909

1909年浮世版画展図録：初期浮世絵版画（仏教版画や菱川師宣、鳥居清信など24名の絵師の作品）

解説（Raymond Kæchlin）3頁 | 目録（掲載328点）23頁 | 図版（白黒170点）：64頁

Harunobu, Koriūsai, Shunsho : estampes japonaises, exposées au Musée des arts décoratifs en Janvier 1910

1910年浮世版画展図録：鈴木春信、磯田湖龍斎、勝川春章を中心に約33名の絵師の作品

解説（Raymond Kæchlin）14頁 | 目録（掲載328点）46頁 | 図版（白黒点90点、カラー5点）67頁

第2巻

Kiyonaga, Buncho, Sharaku : estampes japonaises, exposées au Musée des arts décoratifs en Janvier 1911

1911年浮世版画展図録：鳥居清長、一筆斎文調、東洲斎写楽を中心に約8名の絵師の作品

解説（Raymond Kæchlin）23頁 | 目録（掲載335点）31頁 | 図版（白黒点189点、カラー20点）102頁

Utamaro : estampes japonaises, exposées au Musée des arts décoratifs en Janvier 1912

1912年浮世版画展図録：喜多川歌麿を中心に約10名の絵師の作品

解説（Raymond Kæchlin）19頁 | 目録（掲載306点）28頁 | 図版（白黒点207点、カラー15点）114頁

第3巻

Yeishi, Choki, Hokusai : estampes japonaises, exposées au Musée des arts décoratifs en Janvier 1913

1913年浮世版画展図録：鳥文斎栄之、栄松斎長喜、葛飾北斎を中心に約24名の絵師の作品

解説（Raymond Kæchlin）25頁 | 目録（掲載405点）32頁 | 図版（白黒点249点、カラー14点）143頁

Toyokuni, Hiroshigé : estampes japonaises, exposées au Musée des arts décoratifs en Janvier 1914

1914年浮世版画展図録：歌川豊国、歌川広重を中心に約26名の絵師の作品

解説（Raymond Kæchlin & Charles Vignier）11頁 | 目録（掲載404点）30頁 | 図版（白黒点151点、カラー14点）100頁

フェノロサ手稿 「日本絵画蒐集作品解説付総目録」

復刻・翻刻・邦訳集成 全1巻

Complete Catalogue of Collection of Specimens of Japanese Art including
Notes and Commentaries and Reference to the Other Note Books belonging to
the Collector, by Ernest Francisco Fenollosa

山口静一（埼玉大学名誉教授）編・著

2020年7月刊行 B5判・約370頁（カラー図版8頁）

本体価¥38,000（＋税） ISBN: 978-4-86166-212-6

ボストン留学中の故秋山光夫氏（当時東京博物館鑑査官）が1930年に現地の古書店で発見、購入した、アーネスト・フェノロサの自筆ノート（現在早稲田大学津八一記念博物館所蔵）の初の公刊です。

お雇い外国人教師として来日後日本美術蒐集を開始したフェノロサが、入手した日本絵画の作品名、作者や流派などの基本情報を記し目録化した自筆ノートで、作品の図様や特色についての自らの解説や、助言を得た日本人美術専門家（鑑識家や画家）の意見が加えられています。ノート末にはフェノロサ自身が作成した索引も付されています。記載されている日本絵画は、米国帰国後、初代日本部部长となるボストン美術館に寄託され、現在同館の日本絵画コレクションの核の一つとなっています。フェノロサの日本での美術品蒐集の履歴や日本美術への理解を研究する資料としてだけでなく、明治期の専門家による日本美術の評価、そして日本美術の海外への流出史などを研究する上で極めて貴重ですが、現在まで公刊されることはなく、その内容は一部が紹介されるのみにとどまっていた。

本出版では、手稿ノート全ページの影印復刻に英文全文を翻刻、さらに編者による邦訳、解説および註解を加えます。また、目録中の各作品とボストン美術館の収蔵番号との対照表を作成し、現在同美術館のウェブサイトで公開されている美術品へのアクセスの利便性を図ります。



「本書はその（日本古美術保護活動の）最初期の現場でのいわばフェノロサの肉声、彼が何を考えていたのかをリアルに伝えている。ここから読み取れる情報は甚だ多く、作品情報から鑑定方法、アドバイザ、当時の日本・中国美術の知識など、140年前からの同時中継を聞いているようでワクワクさせられる。様々な新知見が切り出されることを期待したい。」

佐藤道信（東京芸術大学教授）

【収録内容】

- ① カラー図版（ボストン美術館 フェノロサ・ウェルド・コレクションより） / Plates of Selected Paintings from The Fenollosa-Weld Collection, Museum of Fine Arts, Boston, c. 8 pp.
- ② 英文解説 / Introduction by Seiichi Yamaguchi, c. 8 pp.
- ③ フェノロサ手稿目録影印復刻（含む索引） / Facsimile Reprint of Complete Catalogue of Collection of Specimens of Japanese Art including Notes and Commentaries and Reference to the Other Note Books belonging to the Collector Ernest Francisco Fenollosa, c. 200 pp.
- ④ 英文翻刻（含む索引） / Transcription of the 'Catalogue' including Index by Ernest Francisco Fenollosa c. 60 pp.
- ⑤ 編者英文註 / Editor's Notes & Glossary, c. 8 pp.
- ⑥ 日本語解説 / Introduction in Japanese c. 5 pp.
- ⑦ 邦訳「日本語絵画蒐集作品解説付総目録」 / Translation of the 'Complete Catalogue' in Japanese c. 60 pp.
- ⑧ 作者および引用人物等日本語註解 / Editor's Notes in Japanese, c. 10 pp.
- ⑨ ボストン美術館所蔵品アクセス対照表 / List of Access Numbers of Museum of Fine Arts, Boston, c. 5pp.

フェノロサ英文著作集

【復刻集成】 全3巻＋別冊日本語解説

Ernest Francisco Fenollosa: Published Writings in English

【編集・解説】 山口静一（埼玉大学名誉教授）

(Series: *Collected Works of Japanologists*)

2009年3月刊行 判型：B5判・約1,270頁 本体セット価¥78,000-（＋税） ISBN: 978-4-86166-112-9

■フェノロサ没後 100 周年記念出版■

「日本美術の恩人」と称されるフェノロサの英文著作の初の集成です。

明治11年に米国より来日し、前年開校した東京大学の政治学、理財学、哲学教授に着任したお雇い外国人フェノロサは、教育者として、後の日本教育界をリードすることになる多くの人材（井上哲次郎、岡倉天心、嘉納治五郎、高田早苗など）を育てますが、同時に、西洋崇拜の明治にあって見捨てられていた日本の伝統美術を高く評価し、美術品収集、研究を進め、岡倉天心とともに東京美術学校の創立に尽力します。米国帰国後もボストン美術館日本美術部キュレーターを務め、米国での日本美術の紹介や、ボストンだけでなくフリーア美術館など米国での代表的日本美術コレクションの礎をつくったことでも知られています。

しかし、その業績や人物に対する評価に比べると、詩集 *East and West* のほかには大きな単行本著作を残さず急逝したフェノロサの執筆活動や著作に対する研究は、未だ限定的にしかなされていないといえます。前述の詩集や、死後未亡人メアリー・フェノロサが遺稿をまとめた *Epochs of Chinese and Japanese Art*、そしてエズラ・パウンドがフェノロサ訳として編んだ謡曲集、そして日本での講演の日本語による記録などが現在でもフェノロサの著書として一般に言及されていますが、フェノロサ自身が日本語をほとんど解さなかったことなどを考慮すると、これらの出版物のどこまでを本来の彼の著作とするのかは、議論が分かれるところでしょう。

没後100年を期に編集される今回の著作集は、フェノロサが自らの名前で活字化していたほぼすべて（ペーパーバック等で刊行されている詩集 *East and West* および遺著 *Epochs of Chinese and Japanese Art* を除く）の文献を復刻にて収録します。ハーバード大学卒業文集に発表した長詩や、東京大学で出題した試験問題から、日本の英字新聞や雑誌に投稿されたゴンズやアンダーソンの日本美術書への書評や日本文化論、美術展カタログへの解説、シカゴ万国博覧会の教育会議での発表、帰国後アメリカの雑誌に発表された美術論や美術教育論など計51点の文献を全3巻に収録します。そのほとんどが初出後初めて再刊されるものです。編者による別冊解説、そして巻末には編者がフェノロサの業績と参考事項を詳説する年表と、夫人メアリーの浮世絵に関する論文2点を付録しています。

今後のフェノロサ研究、近代日本美術史、米国・西洋での日本美術の受容の研究には必携の文献です。

※収録文献の詳細は

<http://www.aplink.co.jp/synapse/4-86166-112-9.html>

でご覧いただけます。



戦前期の日本を視覚的に海外に発信した英文写真年鑑

『ジャパン・イラストレイテッド』全 10 巻

Japan Illustrated, 1934-38

完 結

A Year Book of Japan with Official Information and Statistical Data on All Phases of the Empire combined with Special Articles and a Complete Guide Book

Edited by Nippon Dempo News Agency (日本電報通信社)

【復刻版 監修・解説】土屋礼子（早稲田大学政治経済学術院教授）※ 解説書は第 1 回配本に付録されます。

- 多数の白黒写真とカラー図版により日本を海外に広く紹介した、豪華英文写真年鑑 *Japan Illustrated* 復刻版が完結。
- 戦前期の日本の国家の宣伝の一端を担った出版物で、時事情報やデータをまとめた一般の「年鑑」の内容に加え、各年後半は General Guide for Foreign Travellers と題し、日本の各地を海外に紹介する日本ガイドとなっている。日本ほぼ全土の自然や名所旧跡を地域ごとに紹介、建築、美術工芸品は一部カラー図版も使い掲載し、教育、スポーツや芸術活動など文化的な国家イメージのPRにも多くのページを割き、また外国人外交官や海外からの来日した著名人なども写真入りで報じている。
- 植民地台湾、朝鮮、南方諸島、樺太などに加え、満州に関しては独立したセクションが設けられ産業や人々の生活に関する貴重な写真も多数掲載。
- メディア史、広告史、写真史、観光史などの資料としてのみならず、近代日本史に関するあらゆる側面のデータおよび視覚的資料として利用が可能。



第 1 回配本 全 6 巻＋別冊解説

Japan Illustrated, Part 1: 1934-1936 in 6 volumes

[Pre-war Japan: A Collection of Yearbooks in English, Series 4]

2017 年 11 月刊行 B5 判・全約 2,650 頁 本体セット価：¥168,000-（＋税）※分売可 ISBN: 978-4-86166-165-5

Volume 1-2 : Japan Illustrated 1934（総 957 頁、カラー図版 14、白黒図版約多数）

2 巻セット分売価：¥68,000-（本体）ISBN: 978-4-86166-198-3

Volume 3-4 : Japan Illustrated 1935（総 886 頁、カラー図版 14、白黒図版多数）

2 巻セット分売：¥68,000-（本体）ISBN: 978-4-86166-199-0

Volume 5-6 : Japan Illustrated 1936（総 768 頁、カラー図版 7、白黒図版多数）

2 巻セット分売：¥68,000-（本体）ISBN: 978-4-86166-200-3

第 2 回配本 全 4 巻（完結）

Japan Illustrated, Part 2: 1937-1938 in 4 volumes

[Pre-war Japan: A Collection of Yearbooks in English, Series 5]

2018 年 6 月刊行 B5 判・全約 1,300 頁 本体セット価：¥128,000-（＋税）※分売可 ISBN: 978-4-86166-166-2

Volume 7-8 : Japan Illustrated 1937（総 676 頁、カラー／白黒図版多数）

2 巻セット分売：¥68,000-（本体）ISBN: 978-4-86166-201-0

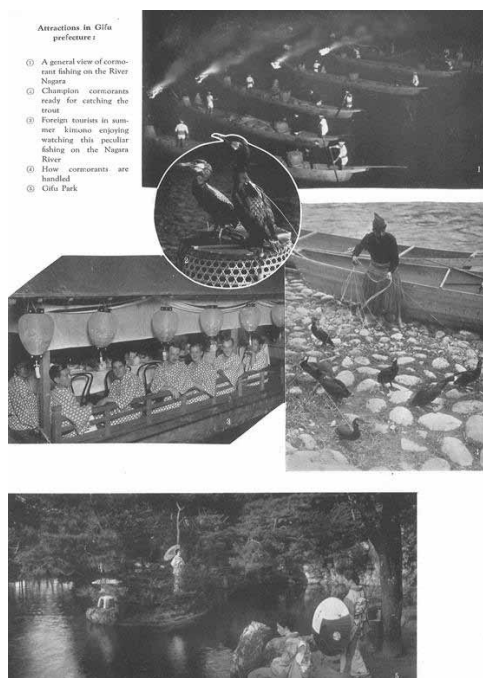
Volume 9-10 : Japan Illustrated 1938（総 626 頁、カラー／白黒図版多数）

2 巻セット分売：¥68,000-（本体）ISBN: 978-4-86166-202-7

推薦文

吉見俊哉（東京大学大学院情報学環教授）

グローバル化のうねりの中で、日本から海外への英語での情報発信に関心が集まる。これは、今だけの話ではない。日清、日露戦争に勝利し西洋列強と肩を並べたと人々が考え始める20世紀初頭には、英文メディアの重要性が認識され、日本人による初の本格的英字新聞である *Japan Times* が発刊されていくのである。これは、100年前の出来事だが現在につながる。その後、同新聞の創設にも参画した武信由太郎による英文年鑑 *Japan Year Book* の刊行が始まり、日本からの情報の速報と蓄積機能を併せ持つメディアとして海外に広く頒布された。戦前期にはこれ以外にも英文日本年鑑が何種類か刊行されたが、その中でも写真図版を多数掲載した大判の本書 *Japan Illustrated* は特に注目される。発行元の日本電報通信社は1901年に創業、広告・通信社として大きく成長するが、戦前期には国のメディア戦略の一翼も担い、「国家の宣伝」ともいふべきこの英文年鑑を手掛けることになった。今日風には、ソフトパワー戦略といふべきか、統計データや時事情報に加え、美術工芸品のカラー図版や文化行事の紹介にも多くのページを割いている。本年鑑は1934年から38年までの数年間しか続かないが、すでに戦争への道を突き進んでいた日本にあって、広報戦略と軍事戦略の両面性という観点からも、今日にもつながる出版事業だったといえるだろう。メディア史のみならず、近現代史、文化史研究の様々な側面の資料として推薦したい。



Japan Illustrated 1937 CONTENTS

VOLUME 7

PART I: A Year Book of Japan

- Chapter I: The Imperial Court of Japan
- Chapter II : The Influence of Geography on Industry
- Chapter III : The Present and Future of the Japanese Population
- Chapter IV : Government
- Chapter V: Principal Domestic Events
- Chapter VI: The Army
- Chapter: VII The Imperial Japanese Navy and Naval Limitation
- Chapter VIII: Foreign Relations
- Chapter IX: The Press
- Chapter X: Communications
- Chapter XI: Education
- Chapter XII: Religion
- Chapter XIII: Social Work
- Chapter XIV: Patents
- Chapter XV: Olympic Games (The 1940 Olympic Games to be Held in Tokyo)
- Chapter XVI: Finance
- Chapter XVII: Economic Affairs
- Chapter XVIII: Aviation

Appendix: The Constitution / The Imperial House Law / Diplomatic Representatives in Tokyo / The German-Japanese Agreement Against the Comintern

VOLUME 8

PART II General Guide for Foreign Travellers

- Chapter I: Kwanto and Tohoku
- Chapter II: Chubu Region
- Chapter III: Kinki Region
- Chapter IV: Chugoku Region
- Chapter V: Shikoku Region
- Chapter VI: Kyushu Region
- Chapter VII: Hokkaido
- Chapter VIII: Overseas Possessions: Chosen / Taiwan / Karafuto / Kwantung Province / South Sea Islands

ILLUSTRATIONS IN COLOURS (The Flowers of the Field, by Taikwan Yokoyama / In Search of Autumnal Beauty / A Multi-coloured Pot, by Ninsei Nonomura / Kirishima Azalea / Iris Garden / Flower and Birds, by a Master of the Kano School)

SUPPLEMENT ON MANCHOUKUO

- Chapter I: Introduction (March of Progress / Government and Foreign Affairs / Area and Population / Judiciary / Local and Municipal Administration)
- Chapter II: Finance
- Chapter III: Currency and Banking
- Chapter IV: Economy and Industry
- Chapter V: Transportation and Communications

APPENDICES (Japan's Declaration on Abolition of Extrality / Exchange Control Law / Manchoukuo-German Trade Agreement / Japan-Manohoukuo Treaty on Extrality / Supplementary Agreement / Foreign Trade Statistics)

INDEX TO ADVERTISERS

ジェームズ・ロード・ボウズ 日本美術工芸関連著作集成

【英文復刻版】全 5 巻＋別冊日本語解説

Collected Works of James Lord Bowes on Japanese Art

●解説● 和沙（日本女子大学）

Series: *Western Sources of Japanese Art and Japonism*

（『ジャポニズムの系譜』シリーズ第 9 回配本）

監修：馬淵明子（国立西洋美術館館長）

2015 年 12 月刊行 本体セット価 148,000-（＋税）

ISBN 978-4-86166-192-1

全約 2,030 頁（カラー図版約 110 点）

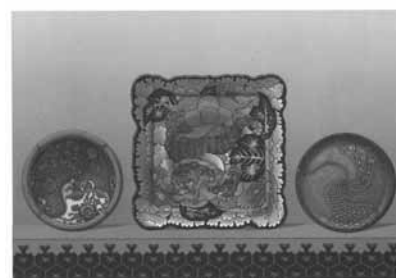
判型：第 1-4 巻＝B5 判／第 5 巻＝A4 判



◆イギリス・ジャポニズムのもう一人の立役者ボウズの 著作など 9 文献を 5 巻に収録、カラー図版多数掲載◆

19 世紀末の英国で、日本美術の蒐集やその紹介に大きな功績を残した、ジェームズ・ロード・ボウズ（James Lord Bowes, 1834-1899）の初めての著作集成です。産業革命期の英国の中心地の一つ、貿易都市リヴァプールの羊毛商として財をなしたボウズは、1867 年のパリ万博で目にした日本の展示品から日本美術への関心を持ち、本格的なコレクションを始めたと言われています。横浜と直通航路が開通したリヴァプールという地の利もあり、林忠正、南方熊楠、高橋義雄、加藤高明ら多くの日本人と親交をむすんだボウズは、彼らから得た情報なども使い、生涯に 2600 点を超える日本の美術工芸品を蒐集します。1888 年にはリヴァプールの初代日本名誉領事に就任、1890 年に自らのコレクションの展示を目的とする英国初の日本美術館、ボウズ美術館を開館、さらに自宅を日本風に装飾して行った演劇や音楽のイベント「ジャパニーズ・ファンシー・フェア」を催すなど、その後半生を日本美術と日本文化の英国への紹介に捧げます。

ボウズは、自身の美術館の手引き書を始め、陶器や七宝に関する研究書など、出版活動も積極的に行いましたが、本著作集では、それら書籍全点を復刻し、また関連資料としてその美術コレクション競売時の売立て目録を収録します。死後、美術館が閉鎖され、コレクション全点は競売され散逸、その大半の所在が今日でも不明なため、彼の活動の全容を知ることは極めて難しくなっています。今回のこの著作集は、ボウズの英国での日本美術の受容において果たした役割を探る上で、大変貴重な資料となりますし、またボウズを通じ、ジャポニズムや 19 世紀英国と日本の文化接触に関する、新たな研究を展開するための一次文献集としても、広くご利用いただけます。



ボウズ著作集刊行によせて

ジェームズ・L. ボウズは、知名度は低い、じつに面白い人物である。実業家であり、1890年代に、リヴァプールに「日本美術館」を作って、さかんに日本美術の伝播に貢献した。リヴァプールに上陸する日本人を次々と歓待して自邸に泊め、交流した。なかに、南方熊楠や加藤高明などがいる。そのうえ、日本の工芸に関する本や論文を書いた。当時欧米語でのこの分野の本が極めて少ないころのことである。アメリカ人で日本にお雇いとしてやってきたエドワード・シルヴェスター・モースも陶磁器に関心を持ち、ボウズの書いたものを輸出用の近代の作品に基づいているとして批判したが、ボウズ自身はいわゆる名品コレクターというより、それらの作品に日本のものの見方や風俗を読み取ることが第一の目的であったと思われる。名品コレクターは自分の財力や鑑識眼を誇る傾向にあるが、そうしたボウズの「日本から多くを学ぶ」という姿勢は、コレクターとしては珍しい。残念なことに彼の早い死によって、美術館は十年で姿を消し、コレクションは散逸した。その復元はかなり困難であるが、英国や西洋各地に散って、彼が希望した日本の深い理解に貢献することになったと言えるのではない。

このたびボウズの著作がまとまって刊行されることになった。ジャポニズム研究のうえでも、日本美術の海外での受容研のうえでも、きわめて重要な役割を果たすことになる。たいへんありがたいことである。

馬淵明子（国立西洋美術館長）

CONTENTS

Volume 1:

Japan: An Interview with H.I.M. Consul at Liverpool, Liverpool: D. Marples (Printed by), 1889.

Handbook to the Bowes Museum of Japanese Art Work, Liverpool: E. Howell, 1890.

Handbook to the Bowes Museum of Japanese Art Work: Streatlam Towers, Liverpool, Liverpool, 1894.

A Vindication of the Decorated Pottery of Japan, Liverpool: D. Marples (Printed by), 1891.

Japanese Enamels, with Illustrations from the Examples in the Bowes Collection
Liverpool: D. Marples (Printed by), 1884.

Volume 2:

Notes on Shippo: As Sequel to Japanese Enamels, London: Kegan Paul, Trench, Trübner & Co., 1895.

Catalogue - The "Bowes" Collection of Japanese Art, Liverpool: Branch & Leete, Auctioneers, 1901.

Volume 3:

Japanese Marks and Seals, London: Henry Sotheran, 1882.

Volume 4:

Japanese Pottery. with Notes Describing the Thoughts and Subjects Employed in Its Decoration and Illustrations from Examples in the Bowes Collection, Liverpool: E. Howell, 1890.

Volume 5:

Keramic Art of Japan [with George Ashdown Audsley]

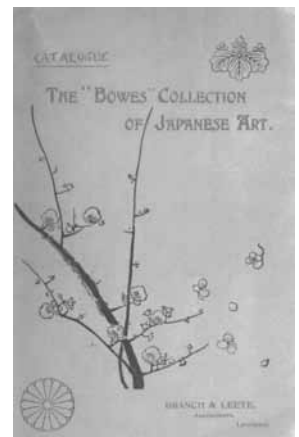
Vol. 1: Liverpool & London: Henry Sotheran, 1875.

Vol. 2: Liverpool & London: Henry Sotheran, 1875.

別 冊

日本語解説：糸 和沙

The Gardens of Uyeno and Asakusa, Yedo, Liverpool, 1894, Transcribed Text



フランス人コレクターの日本美術品売立目録

16 文献・合本 6 巻＋別冊日本語解説

Catalogues des Ventes des Collections d'Art Japonais

【編集・解説】馬淵明子

2011 年 9 月刊行 本体セット価¥148,000-（＋税） ISBN 978-4-86166-059-7

B5 判 (Vol. 1-5) & A4 判 (Vol.6)・全約 3,200 頁（図版多数）

本書の特色

- フランス・ジャポニズム期を代表する美術コレクター 8 名の日本・極東美術収集品のオークションカタログ 16 点を集成。多数の図版も洩れなく収録。
- フランスでの日本美術の受容の研究と同時に、今日注目される研究テーマ、海外へ流出した日本美術品調査のための一次資料としても極めて重要。

19 世紀末から 20 世紀初頭の、西洋における日本美術受容研究のための同時代の文献や史料を、原本の復刻で提供するシリーズの第 7 回配本は、ジャポニズム期を代表するフランス人日本美術コレクターの美術品売立目録を復刻集成します。

ジャポニズムという用語を初めて使用したとされる美術評論家フィリップ・ピュルティエ、「知られざるオリエンタリスト」ピエール・バルブト、林忠正の協力で『歌麿』や『北斎』を著した作家エドモン・ド・ゴンクール、『パリ・イリュストレ』誌などを手掛けた印刷業者で同誌の日本特集号では編集長を務めたシャルル・ジロ、ジャポニズムを代表する美術商で月刊誌『芸術の国日本』を出版したことでも著名な S. ビング、印象派絵画のコレクターとしても知られるアレクシス・ルアール、アルザス地方ミュルーズの著名な製糸業者の一族で、オランダ美術、印象派、日本美術などのコレクターとして名を知られたジャン・ドルフュス、そして『ガゼット・デ・ボザール』の編集長でジャポニズム・ブームの立役者ルイ・ゴンス、以上 8 名のコレクションの売立目録計 16 点を収録します。利用の便を図り、一部の文献は原本を若干縮小しますが、多数の図版も含め出来る限り原本を忠実に復刻いたしました。

売立目録は、各時代に美術品がどのように評価され、社会に受容されていたのかを伝える生の記録として注目されている一次資料です。本コレクションも、フランス人美術コレクターの日本美術収集活動の研究だけでなく、林忠正やビングなど美術商がヨーロッパでの日本美術の受容に果たした役割、西洋で受け入れられた日本美術の傾向、そして今日注目の集まる日本美術品の海外への流出の調査など、美術・文化史研究に、広くご活用ください。

*本書出版に際しましては、利便性を考え、原本余白部分を必要に応じ削除し、コンパクトなサイズで復刻しておりますが、一部の目録はテキスト・図版部分にも若干の縮小がなされています。

【収録内容】

VOL. 1: [Philippe Burty] ピュルティエ 1891 年 3 月売立目録 2 点 (B5 判・570 頁)

VOL. 2: [Goncourt] ゴンクール兄弟 1904 年 3 月売立目録 1 点 (B5 判・464 頁)

VOL. 3: [Gillot, Charles] ジロ 1904 年 2 月 & 4 月売立目録 2 点 (B5 判・776 頁)

VOL. 4: [Pierre Barboutreau, Alexis Rouart] バルブト 1904 年 6 月、1905 年 11 月、1908 年 4 月、1924 年 3 月売立目録 5 点、ルアール 1911 年 5 月売立目録 1 点 (計 6 点 B5 判・628 頁)

VOL. 5: [Jean Dollfus & Gonse, Louis] ドルフュス 1912 年 5 月売立目録 1 点、ゴンス 1924 年 5 月、1926 年 4 月売立目録 3 点 (計 4 点 B5 判・580 頁)

VOL. 6: [Bing, S.] ビング 1906 年 5 月売立目録 6 分冊 1 点 (A4 判・約 330 頁)

クリストファー・ドレッサー 他 著

図版入り・復刻版

ヴィクトリア朝

産業デザイン・技術教育百科 全4巻

The Technical Educator: An Encyclopaedia of Technical Education

2003 年 10 月刊行 本体セット価 ¥98,000- (+ 税) ISBN 978-4-901481-71-7

■ 底本 Cassell, Peter & Galpin, 1870-73 B5 判 約 1700 頁 (図版入り)

残部僅少

本書の特色

● ジャポニズムやモダン・デザインの中心人物ドレッサーらが執筆した百科

● 豊富な図版はヴィクトリア朝時代の視覚的資料としても貴重

● 詳細な索引でクロス・レファレンスが可能

19 世紀後半の英国では、ウィリアム・モリスのアーツ・アンド・クラフツ運動に代表される中世の手工芸への回帰の風潮がある一方、勃興した中産階級と、その生活を支える機械工業と大量生産の時代を受け入れ、工業製品や生活様式にあらたな機能的美しさを求める運動がありました。ドレッサー (Christopher Dresser (1834-1904)) はこの流れの中心的インダストリアル・デザイナーで、家具、食器、テキスタイルなどヴィクトリア朝時代の生活装飾に大きな影響を与えました。今日でも、モダン・デザインは彼から始まったと、その功績は高く評価されています。また、彼は明治 9 年に日本各地を訪れ、英国の工芸品を紹介すると同時に日本美術を学び、ジャポニズムをデザインのなかに取り入れたことでも知られており、「クリストファー・ドレッサーと日本」と題した展覧会が昨年日本を巡回しました。

本書は工業デザインや技術教育の必要性が認識された 1870 年代に、ドレッサーらが中心となり編集・執筆された百科事典です。ドレッサーはデザインの基本と色彩理論の項目を執筆、その他にも *Illustrated London News* の副編集長 John Timbs、写真家のパイオニアの一人 Phillip Delamotte、Royal Academy の教授 A. H. Church、Royal College of Science の教授 Sir Robert Ball など多彩な執筆陣が、工業だけでなく建築、農業、土木など幅広い産業に応用すべき、デザインや技術をカラーを含む多数の図版とともに解説したレファレンスです。

デザイン史や教育史の資料としてだけでなく、視覚的にヴィクトリア朝時代を読み解くための「目で見えるレファレンス」としても、どうぞお役立てください。

■主な項目と執筆者■

AGRICULTURAL DRAINAGE, by J. Wrightson, Prof. Royal School of Mines

APPLIED MECHANICS, by Sir Robert Stawell Ball Brick and Tile Making, Gilbert Redgrave

BUILDER'S QUANTITIES AND MEASUREMENTS, by E. Wyndham Tarn Buttons, by Charles Hibbs

CHEMISTRY APPLIED TO ART, by George Gladstone

COLOUR, by A. H. Church

ELECTRICAL ENGINEERING, by Edward A O'Keefe

MAP AND PLAN DRAWING, by C. C. King

NOTABLE INVENTIONS AND INVENTORS, by John Tims

OPTICAL INSTRUMENTS, by Samuel Highley

PAPER AND CARDBOARD MAKING, by George Tindall

PHOTOGRAPHY, by T. C. Hepworth

PRACTICAL APPLICATION OF THE FINE ARTS, by Phillip Henry Delamotte

PRINCIPLES OF DESIGN, by Christopher Dresser

SEATS OF INDUSTRY (Manchester, Glasgow etc), by H. R. Fox Bourne

SILK CULTURE, by Alexander Wallace

STEAM-ENGINE, by J. M. Wigner

TECHNICAL EDUCATION AT HOME AND ABROAD, by Sir Philip Magnus



ジュディット・ゴーティエ

－日本・中国趣味著作集－【復刻集成】全5巻＋別巻『蜻蛉集』

Le Japon et la Chine dans les œuvres de Judith Gautier

5 vols. + Poèmes de la libellule

【編集・解説】小山ブリジット（武蔵大学）【別冊■解説和訳 隠岐由紀子（帝京平成大学）】

2007年3月刊行 約2,800頁 本体セット価 ¥128,000-（＋税）

第1-5巻：A5判／別巻：変形B5判[カラー] ISBN 978-4-86166-037-5

ピエール・ロティとならぶ、フランス文学におけるジャポニスム・オリエンタリズムの中心人物、ジュディット・ゴーチエ Judith Gautier (1846-1917) の初めての復刻著作集です。父テオフィル・ゴーチエの影響もあり東洋への関心を抱いたジュディットは、父とともに訪れた1862年ロンドン万博の後、本格的に中国語を学び、1867年に唐詩の翻訳 *Livre de jade*、69年に中国を主題とした小説 *Le dragon impérial* を発表します。その後、日本の開国により渡仏する日本人留学生や外交官の多くが彼女のサロンを訪れ、彼らとの交流から作品の主題も日本へと広げられ、1875年に日本を題材とした初めての小説 *L'usurpateur* を出版します。それは、後に戯曲 *La fille du ciel* を共著することにもなるピエール・ロティが『お菊さん』を刊行する約10年前のことです。その後も数多く著された日本・東洋趣味の作品の中には、1900年のパリ万博での貞奴の公演のための舞踊劇の台本 *La musique japonaise* のような珍しいものも含まれますが、なかでもパリ留学中の西園寺公望が『古今和歌集』などから選んだ和歌の仏訳『蜻蛉集』 *Poèmes de la libellule* (1884年) は、山本翠水の挿絵の効果もあり評判を呼び、19世紀末フランスでのジャポニスムブームを現す書物として大変貴重なものです。

本復刻集は、ジュディット・ゴーチエの日本と中国を題材とした作品のうち、現在の版で入手できるものを除き、初版または同時代の版を復刻するものです。フォリオ判の『蜻蛉集』も別巻に収録いたしました。

ジャポニスム研究が絵画、美術の分野からより広く文学、文化研究へと展開している今日、本著作集をどうぞこれからの幅広い研究のための一次文献集としてお役立てください。



■収録文献■

VOL. 1 [c.390pp]

Introduction de Brigitte Koyama-Richard

Le dragon impérial : Roman chinois

Paris: [1869] Librairie Armand Colin, Nouvelle ed. 1900, 344pp

Aventures de Momotaro: Très ancienne légende japonaise,

traduction et adaptation de Judith Gautier, illustrations du peintre japonais R. Isayama.

Paris: Édition de la Phosphatine Falières, 30pp

VOL. 2 [c.535pp]

La sœur du soleil (L'usurpateur)

Paris: [1875] Dentu & Cie., Nouvelle ed. 1887, 417pp.

La marchande de sourires

Paris: G. Charpentier et Cie., 1888, 117pp

VOL.3 [c.615pp]

Fleurs d'orient

Paris: Librairie Armand Colin, 1893, 277pp

La Musique japonaise à l'exposition de 1900

Paris: Librairie, Paul Ollendorff, 1900, 30pp

Les princesses d'amour

Paris: Société d'éditions littéraires et artistiques, 1900, 305pp

VOL. 4 [c.530pp]

Le paravent de soie et d'or

Paris: Librairie Charpentier et Fasquelle, 1904, 279pp

La fille du ciel (avec Pierre Loti)

Paris: [1911] Calmann-Levy, 15e ed., 1925, 249pp

VOL. 5 [c.590pp]

Le Japon (Merveilleuses histoires)

Vincennes: Les Arts Graphiques, 1912, 125pp

En Chine (Merveilleuses histoires)

Vincennes: Les Arts Graphiques, 1912, 125pp

Les parfums de la pagode

Paris: Librairie Charpentier et Fasquelle, 1919, 336pp

別巻: [c.130pp]

Introduction de Brigitte Koyama-Richard

Poèmes de la libellule, traduits du japonais d'après la version littérale de M. Saionzi, illustrés par Yamamoto

Paris: Gillot, 1884, 120pp

※別巻のみ分売を承っております。

本体価 ¥19,800-（＋税） ISBN: 978-4-86166-049-8

全頁カラー・原本を B5 変形（21 cm × 27 cm）に縮小

ヨネ・ノグチ（野口米次郎）英文著作集第2集

復刻集成版 浮世絵および日本美術評論集 全3巻

Books on Ukiyoe and Japanese Arts in English by Yone Noguchi

【監修・解説】稲賀繁美（国際日本文化研究センター教授）

2008年12月刊行 本体セット価¥89,800-（+税）ISBN 978-4-86166-095-5

●総頁数・約1200頁 判型：A5判（Vol. 1 & 2）/ A4判（Vol.3）

野口さんが浮世絵に興味を持つようになったのはいつの頃からであったか知らないが、明治二十七年、十九歳で、故国との絆をぽつり切って渡米される時、そのトランクの底には鳥居清長描く遊女絵が秘められていた。詩人ヨネ野口はその後、永く浮世絵を歌い続けた、欧米にあっても、日本に帰ってからも。…浮世絵の研究者は跡を絶たないが、浮世絵を歌う詩人はヨネ野口の後には現れない。…

高橋誠一郎

20世紀に英米で絶賛された国際詩人ヨネ・ノグチは、詩、小説や文芸評論と同時に、日本美術の西洋社会への紹介者としても、多くの英文著作を残しています。浮世絵論を中心としたこれらの著作は、ヨネ・ノグチの「日本主義」を研究するための文献として重要ですが、同時にジャポニスム期が過ぎた西洋社会に対し、「世界の日本美術」への評価をさら高めようとする日本人の試みとしても興味深い資料です。

今回のコレクションでは、彼の浮世絵作家論に加え、鉄道院が刊行した外国人向け観光ガイド『広重と日本の風景』や個人で出版した『初期浮世絵論』、太平洋戦争開戦の半年前に執筆された大著『聖武天皇と正倉院』など、ノグチが単行本で出版した日本美術論をすべて復刻いたしました。

【各巻収録文献】

VOL. 1: (A5 / c.351 pp.)

Hiroshige

New York: Orientalia, 1921 c.55 pp. pl.20

Hiroshige and Japanese Landscapes (Tourist Library No. 2)

Tokyo: The Board of Tourist Industry, Japanese Government Railways, 1934, c.80pp. pl. 3

Korin

London: Elkin Mathews, 1922, c.50 pp. pl. 16

Utamaro

London: Elkin Mathews, 1925, c.65 pp. pl. 26

Hokusai

London: Elkin Mathews, 1925, c. 65 pp. pl. 22

VOL. 2: (A5 / c.345 pp.)

Harunobu

London & Tokyo: Elkin Mathews & Dai-ichi Shobo, 1927, c.65 pp. pl. 20

Kiyonaga

Tokyo: Seibundo, 1932, c.120 pp. pl. 90

Sharaku

Tokyo: Seibundo, 1932, c.160 pp. pl.105

VOL. 3: (A4/ 550 pp.)

The Ukiyoe Primitives

Tokyo: (Private publication), 1933, c.250 pp. pl.93

Emperor Shomu and the Shosoin

The Kyobunkwan Press, 1941, c.300 pp. pl. 86



ニューオーリンズ万国博覧会（1884-1885）

全4巻

残部僅少

World's Fairs in the American South, Part 1: New Orleans 1884-1885

The World's Industrial and Cotton Centennial Exposition, New Orleans, LA., USA

2017年12月刊行 全4巻・約1400頁・白黒図版多数 本体セット価¥128,000-（＋税） ISBN: 978-4-905211-10-5



●若きジャーナリスト、ラフカディオ・ハーンを日本へと誘った博覧会の資料集。
●会場で販売されたガイドブック、公式目録、新聞記者時代のハーンの寄稿も認められるクレオール文化やニューオーリンズの図説案内書に加え、実業家・科学者として著名な高峰譲吉（1854-1922）、農学者の玉利喜造（1856-1931）が著した日本の出品目録、教育コミッショナーとして正式招聘された服部一三（1851-1929）が寄稿した日本の教育事情の報告書なども含む。

推薦文

小泉 凡（島根県立大学短期大学部名誉教授・小泉八雲記念館館長）

ニューオーリンズ万博で、日本への開眼を果たしたラフカディオ・ハーン。当時、地元記者だったハーンは取材に奔走し、日本の工芸品にみられる上品で地味な色調、虫や蛙、爬虫類を含む動植物の優美なデザインを「自然の美しい理想化」と絶賛した。さらに日本では欧米言語から翻訳された科学的な学術書が豊富にあり、学校や大学がアメリカに劣らぬ水準にあることに驚嘆し敬意を抱いた。日本政府から派遣された服部一三との出会いは、来日後の英語教師への就任、松江への赴任にも大きな意味を持った。いま、松江とニューオーリンズが友好都市として交流しているが、これもふたりの出会いから導かれたご縁といえる。本書は、ハーンに関心をもつ方々にも、2018年に市制300年を迎えるニューオーリンズ市にとってもかけがえのない記念碑となるだろう。

◆収録内容◆

Vol. 1: *Visitors Guide to the World's Industrial and Cotton Centennial Exposition and New Orleans*
(Louisville: Courier-Journal Job Printing Co., 1884)

"The world's cotton centennial exposition: poem, written by Mary Ashley Townsend"
(New Orleans: L. Graham & son, 1885)

Official catalogue of the World's Industrial and Cotton Centennial ... World's Industrial and Cotton Centennial Exposition (New Orleans: J.S.Rivers, 1885)

Vol. 2: *The World's Industrial and Cotton Centennial Exposition, New Orleans, 1884- 1885.*
Primary Source Edition. By Herbaer S. Fairall (Iowa, Republican Publishers, 1885)

Vol. 3: *Catalogue of the Chinese collection of exhibits for the New Orleans Exposition 1884-5*
(Shanghai. Inspectorate General of Customs. Statistical Department, 1884)

Special Report by the Bureau of Education. Educational Exhibits and Conventions at the World's Industrial and Cotton Centennial Exposition, New Orleans, 1884- 1885. 'Japan' (Washington: Government Printing Office, 1886)

Official Catalogue of the Exhibits from Japan and descriptive notes on agriculture, Art and Industry of Japan
(New Orleans: E. A. Brandao, 1885)

Vol. 4: *Historical sketch book and guide to New Orleans and environs* (New York: Will H Coleman, 1885, pp.324)

別冊：解説（大井浩二著）＋ 米国ニウオーリヤンス万国工業博覧會 演説・高峰譲吉および論評（『工學會誌』1885年）

日英博覧会（1910年）－公式史料と関連文献集成－

【復刻集成版】 全11文献・合本6巻＋別冊解説（日本語）

The Japan-British Exhibition of 1910:

残部僅少

A Collection of Official Guidebooks and Miscellaneous Publications

【監修・解説】 松村昌家（大手前大学名誉教授）

2011年9月刊行 約3,500頁（折込地図、図版（一部カラー）多数） 判型：第1-2巻：A5判 / 第3-6巻：A4判
本体セット価：¥148,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-75-8

20世紀初頭の英国に近代日本と台湾、朝鮮、満州を紹介した最大級のイベント

- 1910年にロンドンにて開催された日英博覧会に関する、英文公式史料と博覧会に合わせて刊行された関連英文文献をを集成する初の本格的史料・文献集
- 英国や日本で刊行された英文による入場者向けガイドやカタログ、開催後に発表されたレポートに加え、この博覧会開催に合わせて刊行されたロンドン・タイムズ紙の日本関連記事集成、日本の英字新聞ジャパン・ガゼット社刊行の英国産業界向けの日本案内、政治家で英文通信社の経営にも関わっていた望月小太郎が、博覧会記念に出版した800頁を超える日本を宣伝用の大著『今日の日本』など、周辺の英文書も同時に復刻

●収録内容●

■ VOL. 1-3: OFFICIAL GUIDE, CATALOGUES & REPORT OF THE EXHIBITION

VOL. 1: *Japan-British Exhibition, 1910, Shepherd's Bush London, Official Guide*, 2nd ed. revised.

London: The Japan-British Exhibition British Commission, 1910, c. 185 pp. (fold maps & numerous plates, some in colour)

Japan-British Exhibition, 1910, Shepherd's Bush, London, Official Catalogue, 3rd ed.

London: The Japan-British Exhibition British Commission / Bemrose & Sons, 1910, c. 342 pp.

Imperial Geological Survey of Japan: with a Catalogue of Articles exhibited at the Japan-British Exhibition held at London, England in 1910, Tokyo: Imperial Geological Survey, 1910, c. 102 pp. c. 102 pp. (fold maps)

VOL. 2: *An Illustrated Catalogue of Japanese Old Fine Arts displayed at the Japan-British Exhibition, London, 1910.*

Tokyo: The Shimbi Shoin, 1910, c. 255 pp. (numerous plates)

An Illustrated Catalogue of Japanese Modern Fine Arts displayed at the Japan-British Exhibition, London, 1910.

Tokyo: The Shimbi Shoin, 1910, c. 181 pp. (numerous plates)

Kyoto, [Handbook] issued by Kyoto's Exhibitors' Association to the Japan-British Exhibition 1910.

Kyoto Exhibitors' Association, 1910, c. 160 pp. (plates some in colour)

VOL. 3: *Official Report of the Japan British Exhibition, 1910, at the Great White City, Shepherd's Bush, London*

London: Printed by Unwin Brothers, 1911, c. 559 pp. (numerous illustrations and a fold map)

■ VOL. 4-6: MISCELLANEOUS PUBLICATIONS RELATED TO THE EXHIBITION

VOL. 4: *The Japanese Empire: A Reprint of the Times Japanese Edition, July 19, 1910*

London: J.P. Bland, 1910, c. 445 pp. (fold maps & numerous plates)

VOL. 5: *The World's Work, June 1910, a Japanese Number (The Alliance and the Empire / The Manchurian Railway /*

The Japan-British Exhibition), London: William Heineman, 1910, c. 110 pp. (plates)

Japan Alliance Exhibitional: to promote Anglo-Japanese Commerce

Yokohama: Japan Gazette, 1910, c. 239 pp. (fold map & numerous plates, some in colour)

VOL. 6: *Japan To-day; a Souvenir of the Anglo-Japanese Exhibition held in London 1910*

(a Special Number of the "Japan Financial and Economic Monthly"), by Kotaro Mochizuki.

Tokyo: "The Liberal News Agency", 1910, c. 892 pp (fold map & numerous plates, some in colour)

1862 年国際博覧会 (第 2 回ロンドン万国博覧会) 資料総覧

～公式図解カタログと『絵入り家庭新聞』国際博覧会特集～ 【復刻版】全 5 巻＋別冊解説

The International Exhibition of 1862, London:

Official Illustrated Catalogue & Cassell's Illustrated Family Paper Exhibitor

【監修・解説】松村昌家（大手前大学名誉教授）

残部僅少

2014 年 2 月刊行 本体セット価 ¥168,000- (+税) ISBN: 978-4-902454-82-6

総約 3,400 頁 (全 5 巻＋別冊) 折込地図・図版 (一部カラー) 多数 / 判型: B5 判 (第 1-4 巻)、A4 判 (第 5 巻)

1862 年にロンドンで開催された国際博覧会 (第 2 回ロンドン万国博覧会) は、アルバード公死去翌年の開催だったこともあり、水晶宮で行われた第 1 回ほど華やかさに欠けてはいましたが、世界各地より 39 か国が参加、1862 年 5 月から半年間に 610 万人が来場し、会場のスペース含めその規模において第 1 回ロンドン万博を上回るものでした。クリミア戦争や植民地インドでの反乱などを経験した英国でのこの万博は、大英帝国の国家主義が強く打ち出され、軍需産品や最新の工業製品が広く展示されましたが、また同時に、植民地各地の展示やライバルのバリ万博を意識した美術・工芸品の展示にも大きなスペースを割り、ヴィクトリア中期の大英帝国や世界の最先端の科学・技術、文化・芸術が結集した歴史的なイベントでした。



幕末の日本からは、正式な出展はなかったものの、初代駐日英国公使ラザフォード・オールコックが自身の日本美術品のコレクションを多数出品し、イギリスのジャポニスム・ブームに火をつけることになりました。また、開港延期の交渉に幕府より派遣されていた文久遣欧使節はこの万博の開会式に賓客として出席しましたが、使節団の中には福澤諭吉、福地源一郎も含まれており、彼らがアームストロング砲など西洋の最新兵器や技術に大きな刺激を受けたことは想像に難くありません。今回の復刻資料集には、第 1 回ロンドン万博から第 2 回万博に至る歴史などの解説を含む英国展図入り目録全 2 巻に、植民地や海外各国の目録各種をまとめ全 4 巻で刊行された公式資料集に、キャッセル社が発行した『絵入り家庭新聞』の国際博覧会特集を加え全 5 巻にて出版いたします。いずれも初めて復刻される資料です。博覧会史、ヴィクトリア朝研究、大英帝国史、日英交流史などから産業史、社会経済史研究まで、分野を超えてご利用いただける文献集です。

■ CONTENTS ■

Volume 1-4 : The Illustrated Catalogue of the International Exhibition of 1862, London, Printed for Her Majesty's Commissioners

Vol. 1 (c. 835 pp.): *The Illustrated Catalogue of the Industrial Department, British Division - Vol. I*

Grand Plans of Building and of Galleries

A Concise History of the International Exhibition of 1862

Vol. 2 (c. 875 pp.): *The Illustrated Catalogue of the Industrial Department, British Division - Vol. II*

Vol. 3 (c. 560 pp.): *The Illustrated Catalogue of the Industrial Department, Colonial and Foreign Divisions*

Colonial Possessions: Australia, South / Australia, Western / Bahamas / Barbados / Bermuda / Borneo / British Columbia / Canada / Cape of Good Hope / Ceylon / Channel Islands (Jersey and Guernsey) / Dominica / Hounduras, British / Jamaica / Malta / Mauritius / Natal / New Brunswick / Newfoundland / New South Wales / New Zealand / Nova Scotia / Prince Edward's Island / Queensland / St. Helena / St. Vincent / Tasmania / Trinidad / Vancouvre / Victoria

A Classified and Descriptive Catalogue of the India Department

The Illustrated Catalogue of the International Exhibition, Foreign Division

Africa, Central / Africa, Western / Belgium / Brazil / China / Costa Rica / Denmark / Ecuador / France / France, Colonies of

Vol. 4 (c. 780 pp.): *The Illustrated Catalogue of the Industrial Department, Foreign Division*

Germany: Austria at the International Exhibition of 1862

Hanse-Towns / Mecklenburg-Schwerin

Special Catalogue of the Zollverein-Department, First Division

Special Catalogue of the Zollverein-Department, Second Division

Greece / Hawaiian or Sandwich Islands / Hayti / Ioneian Islands / Italy / Japan / Liberia / Madagascar / Netherlands, The / Norway / Peru / Portugal / Rome / Russia / Siam / Spain / Sweden / Switzerland / Turkey / United States / Uruguay / Venezuela

Vol. 5 (c. 315 pp.): *Cassell's Illustrated Family Paper Exhibitor - containing About Three Hundred Illustrations, with letter-press descriptions of all the principal objects in The International Exhibition of 1862*, Published by Cassell, Peter, & Galpin, London, 1862

フィラデルフィア万国博覧会（1876年）

—公式資料と日本関連文献集成— 全5巻＋別冊解説

International Exhibition of 1876 in Philadelphia:

A Collection of Official Records and Miscellaneous Publications

【監修・解説】大井浩二（関西学院大学名誉教授）

残部僅少

2014年4月刊行 A4判・総約2,650頁 本体セット価¥138,000（＋税） ISBN: 978-4-902454-85-7

- 1876年5月10日から11月10まで、アメリカ独立100年を記念して開催されたフィラデルフィア万博は、アメリカの成長と進歩の宣伝を目的としたアメリカの工業製品などの展示とともに、海外からも30か国以上が参加、7つの主要会場を含む広大な敷地には約250のパヴィリオンが作られ、978万人を超える入場者があった。
- 日本はウィーン万博に続き2度目の公式参加を果たし、会場内に日本家屋を建て、陶磁器を中心とした工芸品をジャポニスムブーム最中の欧米に紹介した。また本万博は、翌年から日本で開催が始まった「内国勸業博覧会」のモデルとなったことも指摘されている。
- 今回まとめられる本万博の初の資料集には、会場で販売されたガイドおよび出品品の公式目録と図入り万博史、そして日本政府の出品目録に『日本史略』と題された同万博用の英文日本紹介冊子を加え、全6点の資料を5巻に収録する。
- 西洋近代史研究やアメリカ史、アメリカ文化研究だけでなく、国際文化接触、多文化研究、メディア研究など、多様な視点から研究の進む初期万博研究の基礎資料として必要不可欠な文献集。

■収録文献■

Volume 1: [ガイドブックおよび日本関連資料] 総約435頁

Visitors' Guide to the Centennial Exhibition and Philadelphia

Authorized by the Centennial Board of Finance, and Approved by the Director-General. The Only Guide-book Sold on the Exhibition Grounds, J. B. Lippincott & Co, Philadelphia, 1876, c. 52 pp. + 2 fold-outs

Magee's Illustrated Guide of Philadelphia and the Centennial Exhibition: A Guide and Description to All Places of Interest in or about Philadelphia, to the Centennial Grounds and Buildings, and Fairmount Park

R. Magee & Son, Philadelphia, 1876, c. 193 pp. + 3 fold-outs + 1 color plate

『費府博覧会日本出品目録』

International Exhibition, 1876, Official Catalogue of the Japanese Section and Descriptive Notes on the Industry and Agriculture of Japan

The Japanese Commission, Philadelphia, 1876, c. 138 pp. + 4 fold-outs + 2 color plates

『日本史略』

The Empire of Japan, Brief Sketch of the Geography, History and Constitution

Imperial Commission for the Philadelphia International Exhibition, Philadelphia, 1876, c. 45 pp.

Volume 2-3: [公式出品目録] 総約1,210頁

United States Centennial Commission

International Exhibition 1876, Official Catalogue, 1876

2nd revised edition, John R. Nagle & Co., Philadelphia, 1876

Vol. 1: Part 1: Main Building and Annexes & Part 2: Art Gallery, Annexes, & Out-door Works of Art, c. 644 pp.

Vol. 2: Part 3: Machinery Hall, Annexes, & Special Buildings, c. 565 pp.

Volume 4-5: [図説万博史]

James D. McCabe

The Illustrated History of the Centennial Exhibition Held in Commemoration of the One Hundredth Anniversary of American Independence

National Publishing Co., Philadelphia, 1876

Vol. 4: Chapter 1-13, c. 505 pp. + 13 fold-outs

Vol. 5: Chapter 14-31, c. 463 pp.



●日本・アジアの服飾・風俗をカラー図版 100 点以上とともに描いた●

ワールド・イン・ミニチュア

—日本・中国・東南アジア・南洋諸島—

全 7 巻 + 別冊解説

The World in Miniature; Japan, China, The Asiatic Islands and New Holland, & South Sea Islands

監修・解説●志渡岡理恵（実践女子大学）

2015 年 2 月刊行 A6 判・総約 2,320 頁（カラー図版 102 点）

本体セット価：¥128,000-（+税） ISBN:978-4-86166-185-3

ドイツから移民したルドルフ・アッカーマン（Rudolf Ackermann, 1764-1834）が 1796 年にロンドンに創立したアッカーマン社は、*The Microcosm of London* (3 volumes, 1808-1811), *Westminster Abbey* (2 volumes, 1812) など彩色版画入りの大型絵入り本や、絵入り雑誌 *Repository of Arts, Literature, Fashions* (1809-1829) で知られる、19 世紀の初めの英国を代表する書肆です。なかでも *Repository of Arts* の編集者で、自身イラストレーターでもあったフレデリック・ショバール（Frederic Shoberl, 1775-1853）の編著で刊行した *The World in Miniature* (43 volumes, 1821-6) は、世界各地の地理、文化、風習、服飾などをカラー図版入りで紹介し大成功したシリーズです。文字通り一般読者向けの小型本として製作され、海外に目を向け始めたヴィクトリア期直前の英国近代市民の間で人気を博し、6 年間に全 43 巻が刊行されました。

本集では、この *The World in Miniature* シリーズのなかの、日本（全 1 巻）、中国（全 2 巻）、フィリピン、インドネシアなど東南アジア地域（全 2 巻）、ハワイやニュージーランドを含むミクロネシア・ポリネシア地域（全 2 巻）の計 7 巻を 100 点以上の彩色図版とともに復刻するものです。伝聞や想像をもとに著された 18 世紀の書物の中にある記述とは異なり、この地域を旅し、滞在した西洋人の旅行記などから「事実」を抽出した編集を試みてはいますが、まだそこには多くの誤解や先入観の入ったアジア像が見出されます。産業革命や交通の近代化とともに世界が小さくなりだしたこの時代を象徴する本書は、英国や西洋に日本やアジアの国々がどのように映っていたのかを視覚的にも認識させてくれる興味深い資料です。



監修者より

本コレクションは、19世紀初頭に世界各国の情報を一般読者に提供する目的で刊行された43巻シリーズの一部である。編著者ショバールは、幅広い関心の持ち主で、*New Monthly Magazine* や *The Forget-me-Not* をはじめとする雑誌の編集に携わったほか、*A History of the University of Oxford* (1814) のような大学の歴史を辿った本、旅行文学なども多数出版している。雑学も豊富だったに違いないショバールの編んだ日本の巻を開いてみると、まず何と言っても目を惹くのは色鮮やかな図版。そこに描かれているのはどこかヘンテコな日本人。目次には、宗教や農業、政府の形態、軍隊、鎖国の理由といった基本情報のほか、「嬰兒殺し」、「自殺」、「地震」などの項目が並ぶ。「蝦夷」も取りあげられている。序文には、参照した先達の名前—Kämpfer、Thunberg、Charlevoix、Titsingh—が挙げられている。例えば、アジアが一般の人々の旅先のひとつになり始めた19世紀末に書かれたイザベラ・バードの旅行記や現在の歴史教科書と読み比べつつ、誤解のメカニズムについて思いを巡らすなど、多様な読み方が楽しめる作品である。

志渡岡理虔



●収録内容●

VOLUME 1:

Japan: containing illustrations of the character, manners, customs, religion, dress, amusements, commerce, agriculture, etc. of the people of that empire

(The world in miniature / edited by Frederic Shoberl) Printed for R. Ackermann, 1823

c. 348 pp. incl. 20 colour plates

Contents: Japanese Islands / Persons of the Japanese / Form of Government / The Dairi, or Spiritual Emperor / Dress of Both Sexes / Houses and Furniture / Marriage / Japanese Language / State of the Roads, Modes of Travelling / Public Festivals and Amusements / Agriculture / Fisheries / Foreigners / Islands of Yesso and Sagaleen, etc.

VOLUME 2-3:

China: containing illustrations of the manners, customs, character, and costumes of the people of the Empire

(The world in miniature / edited by Frederic Shoberl) Printed for R. Ackermann, [1823]

v. 1: c. 275 pp. incl. 15 colour plates

v. 2: c. 304 pp. incl. 15 colour plates

Contents: Mandarin / A Lady of Distinction / Imperial Sedan-Bearer / A Female Bonze / A Watchman / A Matchlock Soldier / An Infantry Soldier / Juggler / A Chinese with Umbrella / Confectioner / Seamstress / Waterman / Itinerant Fruit-Seller / Fruit Stall / A Bookseller's Stall / An Itinerant Flower-Seller / Pedlar / Dog-Seller / Fisherman / Countryman with a Cloak of Rice Straw / Barber / Viper-Seller / Pigeon-Seller / Puppet-Show / The Miao-Tse / Chinese Mahometans / Eleuth Tartar / Corean Mandarin / Filial Respect of the Chinese / Mourning / Funeral, etc.

VOLUME 4-5:

The Asiatic islands and New Holland: being a description of the manners, customs, character, and state of society of the various tribes by which they are inhabited

(The world in miniature / edited by Frederic Shoberl) Printed for R. Ackermann, [1824]

v. 1: c. 338 pp. incl. 14 colour plates

v. 2: c. 324 pp. incl. 12 colour plates

Contents: The Philippine Islands / The Marian Islands / Sumatra / Engano / The Nassau or Poggis Islndas / Poulo Nias / Nicoabar Islands / The Andaman Islands / Java / Bali / Timor / Savu / Rottie / Ombay / Borneo / Celebes / Amboyna / Rawak / Waigioo / New Guinea / New Holland / Van Diemen's Land

VOLUME 6-7:

South Sea Islands: being a description of the manners, customs, character, religion, and state of society among the various tribes scattered over the Great Ocean, called the Pacific, or the South Sea

(The world in miniature / edited by Frederic Shoberl) Printed for R. Ackermann, [1824]

v. 1: c. 362 pp. incl. 11 colour plates

v. 2: c. 362 pp. incl. 15 colour plates

Contents: The Friendly Islands / Sandwich Islands / The Marquesas / Easter Island / Society Islands / The Feejee Islands / New Zealand / Radack Islands / The Caroline Islands / New Caledonia / The New Hebrides / Pitcairn's Island

写真図説 イギリスの邸宅建築と庭園

【復刻版】全 10 巻・3 回配本（第 1 回配本に別冊日本語解説を付録）

English Homes & Gardens, 10 volumes

【編著】H. Avray Tipping 【監修・解説（日本語別冊）】近藤存志（フェリス女学院大学教授）

第 3 回配本

初期・後期ジョージアン様式およびイギリスの庭園 全 3 巻

Part 3: Early and Late Georgian & English Gardens

残部僅少

2015 年 8 月刊行 A4 判・約 1,260 頁 本体セット価 ¥88,000-（＋税） ISBN: 978-4-86166-184-6

Vol. 8: Period V - Vol. 1: Early Georgian (1714-1760), c.400 pp.

Vol. 9: Period VI - Vol. 1: Late Georgian (1760-1820), c. 413 pp.

Vol. 10: English Gardens, c. 441 pp.（別冊解説は第 1 回配本に付録されています。）

- 1920 ～ 30 年に刊行された大型ヴィジュアル本シリーズ。ノルマン期から後期ジョージアン期まで、様式ごとに編集され、各時代に住居として使われた英国の歴史的建築物（城館邸宅、マナー・ハウス、カントリー・ハウス等）約 270 点を、外貌だけでなくインテリアや調度品も含めた写真 4,600 点強や建築図面などで紹介した、英国建築に関する重要資料。
- 建築物のシリーズ全 9 巻に、庭園 52 を収録した別巻を加え、大型本全 10 巻を約 15% 縮小し、使い易い A4 判にて復刻。
- 著者のティピングはアーツ&クラフツ運動にもかかわった著名な造園家であると同時に、建築史家として雑誌出版社カントリー・ライフ社の建築部門の編集主幹を務め、同社の資料を縦横に駆使し本シリーズを完結させた。すでに失われた建築物の写真も多く含む、英国建築史に関する記念碑的出版物。
- 第 3 回はジョージアン様式の邸宅 45 点を収録する 2 巻に、英国の代表的な庭園 52 点を掲載する 1 巻 English Gardens を含む。
- グランドツアーなどで学んだ、ヨーロッパ大陸やイタリア文化・芸術を吸収し成立していったジョージア期の芸術様式は、特に建築や家具などの工芸美術で顕著であり、建築だけでなくインテリアも多数の写真で解説する今回の配本巻は、英国美術・建築研究に必携。
- ゴシック小説『オトランド城奇譚』ので知られるウォルポールの邸宅で、英国ゴシック嗜好家の聖地ともなった「ストロベリーヒルズ」、オースティンの小説『高慢と偏見』の舞台「チャッツワース」、今日も英国首相の公式別荘として使われ政治・外交の舞台ともなる「チェッカーズ」（後者 2 件は本配本中では庭園を紹介。邸宅は第 2 回配本巻に収録）など、英国史、文学に登場する邸宅も含まれ、英国文化に関するすべての研究・教育に有用な資料。



既刊配本（残部僅少）

第 1 回配本（全 3 巻＋別冊解説）

中世から初期チューダー様式 Part 1: Medieval and Early Tudor

2013 年 6 月刊行 A4 判・約 1,260 頁 本体セット価：¥88,000-（＋税） ISBN: 978-4-86166-182-2

第 2 回配本（全 4 巻）

後期チューダーから初期スチュアート様式およびジョン・ヴァンブラと その流派による作品 Part 2: Late Tudor and Early Stuart

在庫切れ

英国芸術家列伝 全6巻＋別冊日本語解説

The Lives of the Most Eminent British Painters, Sculptors, and Architects,
by Allan Cunningham

【監修・解説】潮江宏三（京都市美術館館長）

2009年10月刊行 本体セット価¥98,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-55-0

B6判・約2,175頁（図版白黒多数） 底本：London: John Murray, 1830-1833

本書の特色

- ジョルジョ・ヴァザーリの著名な『(ルネサンス) 美術家列伝』にならい、19世紀前半のスコットランド人著述家アラン・カニンガム(1784-1842)を数年間に亘り執筆した、英国画家・彫刻家・建築家の人物事典。その刊行には *Quarterly Review* の編集長ジョン・ギブソン・ロックハートやロバート・サウジーなどが協力した。
- エリザベス期からホルバイン、アントニオ・モア、ルーカス・デ・ヘール、ファンダイク、ピーター・レリー、ゴドフリー・ネラー、ジェイムズ・ソーンヒルら18世紀初頭までの画家を概説した後、英国で活躍した47名の主要美術家の生涯と業績を肖像画とともに詳しく紹介*。
- ポケットサイズで出版され、ヴィクトリア朝期の英国上・中流家庭で広く愛用された。また、その人気は海を渡り、米国ではハーパー社が3巻の抄録版を刊行している。
- 英国美術を網羅的に扱った本格的なレファレンスとして最初期のもので、今日でも美術史の資料として価値を失っていない。同時に19世紀英国国内での自国美術の評価や人気などの研究にも貴重な文献。
- 美術・芸術系大学図書館や英文学・文化研究の学科に必携。



William Blake

*収録されている47名の詳細は <http://www.aplink.co.jp/ep/4-902454-55-0.html> でご覧いただけます。

本書を推薦する。

京都市美術館館長 潮江宏三

スコットランド生まれの文人、アラン・カニンガム(Allan Cunningham 1784-1842)の *The Lives of the Most Eminent British Painters, Sculptors, and Architects* (『英国芸術家列伝』) は、標題に *Lives* の文字があるように、イタリア・ルネサンスの『芸術家列伝』を著した画家、ジョルジョ・ヴァザーリの故事に倣い、書かれたものである。近代的な意味での「美術史」ではない。しかしながら、ヴァザーリの『列伝』が、美術史を含む広汎な意味での文化史研究にとって、同時代および歴史的な証言と考察という点から、未だに新たな解釈と見解を抽出し得る尽きせぬ泉であるように、カニンガムの『列伝』もこれまでその役割を果たしてきた。しかも、この『列伝』が扱っている時代は、「絵画の偉大な世紀」(ゴート)と名づけられる、英国固有の画派が確立した時代である。まさに、イギリスのヴァザーリと呼ばれる所以である。

このカニンガムの『列伝』でまず注目されるのは、その人選である。それは、今日の美術史的価値評価と同じではない。多少は出身地への最良目を含みつつも、アカデミーという権威からだけではなく、ブレイクへの希少な言及など、当時話題となった芸術家が広くその対象となっている。エピソードや証言を通して芸術家の予想外の顔に出会うことができるだけでなく、当時の、むしろ標準的とも言える知識人が、こと芸術に関して、どのような関心の持ち方をしていたのかも感じ取ることができるのである。

学として整理される前の、このようなジャーナリスティックな内容こそが、『列伝』のおもしろさであり、新たな解釈構築の種となるものであろう。時代は、英国がまさにヨーロッパの、そして世界のリーダーとなろうとしている時代のことであり、その意味においては、美術史や文化史の研究者はもちろんのこと、文学や社会史・社会思想の研究者にとっても、是非とも一読に値する原典として本書を推薦するものである。

ヴィクトリア朝の生活と芸術

【復刻版】 全 12 タイトル・合本 4 巻 + 別冊日本語解説

The Art at Home

【監修・解説】 辻みどり

2010 年 2 月刊行 本体セット価 ¥88,000- (+ 税) ISBN 978-4-86166-100-6

B6 判・約 1,570 頁 [Originally published by Macmillan in London, UK and Porter & Coates in Philadelphia, USA]

In these decorative days the volumes bring calm counsel and kindly suggestions, with information for the ignorant and aid for the advancing, that ought to help many a feeble, if well-meaning pilgrim along the weary road, at the end whereof, far off, lies the House Beautiful....-*Examiner*, 1876

ヴィクトリア朝最盛期に一般向けの美術入門書、建築や名所旧跡ガイドの著者、編者として大活躍したロフティーの発案により創刊され、中流階級向けに家庭生活をいかに芸術で彩るかを解説し人気を博したマニュアル本シリーズ、*Art at Home* 全 12 点の復刻集成です。拡大してゆく中流層 (lower-middle class) を読者層に想定し、より豊かな生活を目指すこの階級の上昇志向に応えるべく、編者のロフティーは上流階級 (upper middle-class) の女性を「中流階級の生活指導者」として、著者に多用します。また、英国で大成功したシリーズは、直ちに海を越え、米国フィラデルフィアでも刊行が始まり、東海岸の中流家庭の間でも「おしゃれな英国流生活」への入門書として広く読まれました。

シリーズの内容は、インテリアや衣服といった生活に密接に関わるものから、美術教育、美術品収集、音楽や芝居の楽しみ方など多岐にわたり、シリーズ後期にはアンドリュー・ラングのような著名作家による著作や、ケイト・グリナウェイが挿絵を入れたガイドも刊行されます。

イギリス 19 世紀の生活文化の資料としてだけでなく、研究が進むヴィクトリアン・アメリカの貴重な文献としても、どうぞ活用ください。

●収録内容● ※底本はすべて Macmillan, UK 刊を用います。

VOL. 1: c.410pp.

Introduction by Midori Tsuji

Loftie, W. J.

A Plea for Art in the House, with Special Reference to the Economy of Collecting Works of Art, and the Importance of Taste in Education and Morals, 1876, c.108pp.

Garrett, Rhoda and Agnes

Suggestion for House Decoration in Painting, Woodwork, and Furniture, 1876, c.98pp.

Hullah, John

Music in the House, 1877, c.90pp.

Orrinsmith, Mrs.

The Drawing-Room: Its Decorations and Furniture, 1877, c.100pp.

VOL. 2: c.390pp.

Loftie, Mrs.

The Dining-Room, 1878, c.140pp.

Barker, Lady

The Bedroom and Boudoir, 1878, c.130pp.

Oliphant, Margaret

Dress, 1878, c.115pp.

VOL. 3: c.400pp.

Pollock, Walter Herries & Lady Pollock

(illustrated by Kate Greenaway)

Amateur Theatricals, 1879, c.90pp

Glaister, Elizabeth

Needlework, 1880, c.140pp

Leland, Charles G.

The Minor Arts: Porcelain Painting, Wood-Carving, Stencilling, Modelling, Mosaic Work, etc, 1880, c.170pp.

VOL. 4: c.370pp.

Lang, Andrew (illustration by Austin Dobson)

The Library, 1881, c.200pp.

Ellis, Tristram J.

(illustration by Stacy Marks)

Sketching from Nature, A Handbook for Students and Amateurs, 1883, c.170pp.



ヴィクトリア期女性の「美とファッション」 —同時代文献復刻集成— 29 文献・合本全 6 巻 Women, Beauty & Fashion

Edited by **Monika Pietrzak-Franger** (University of Siegen, Germany)

2014 年 1 月刊行 総約 2,000 頁 本体セット価¥88,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-178-5 ※ プリント・オンデマンド版

女性の「美とファッション」というテーマは、女性の身体性の変遷といった視点からだけでなく、文化史学や美学における「理想とする女性の美しさ」、社会経済史や産業史における「ファッション産業とその消費者としての女性」、医学史における「健康と身体美」、そして教育史での「女性の身体教育」など、異なる分野で極めて広範に研究が展開されています。本資料集は、女性の社会進出とともに女性の美しさとファッションの概念が大きく変わっていった英国 19 世紀～20 世紀初頭を対象に、この時代出版された多様な立場の著者による文献を幅広く収録、本テーマへの横断的なアプローチを可能にすることを目的に編集される復刻文献集です。全体を“Personal Beauty and Care”、“Beauty, Fashion and Health”、“Beauty Education and Self-Management”という 3 つの大項目に分類し、各テーマ年代順に文献を配列することにより、参政権運動など女性史に沿いながら、それぞれの時代の女性の美やファッションに対する意識や社会通念の変化を、同時代の文献で追ってゆきます。

今まで紹介されたことのないパンフレットや稀覯書を多数含み、女性史だけでなく、家政学（服飾史）、教育史（女性教育）から経済史、文学・文化史研究にいたるまで、非常に有用な一次資料集です。



CONTENTS

Vol. I, II, III: Personal Beauty and Care

Vol. IV: Beauty, Fashion and Health Part 1: Beauty vs. Fashion / Part 2: Corsetry

Vol. V: Beauty, Fashion and Health (continued) Part 3: Dress Reform

Vol. VI: Beauty Education and Self-Management

Part 1: Beauty and (Physical) Education / Part 2: Self-Management, Economy and Women Consumer



広告とモダン・アート

－ 20 世紀初期イギリス文献復刻集成－

8 文献・合本 6 巻＋別冊日本語解説

Advertisement and Modern Art in Early Twentieth-Century England

【編集・解説】菅 靖子（津田塾大学）

2014 年 9 月刊行 A5 判 総約 2,125 頁・図版多数（内カラー約 95 点）
本体セット価：¥128,000-（＋税） ISBN: 978-4-902454-81-9

残部僅少

ヴィクトリア時代を終え消費文化の成熟期を迎えた 20 世紀初頭の英国では、拡大した中流層を対象とした産業が栄え、それとともに近代的手法を使った広告産業も大きな発展を遂げました。新たな印刷技術やグラフィックの技法が、それまでと異なる視覚的效果を雑誌や新聞広告、ポスター中のデザイン表現にもたらし、アール・ヌーヴォー、アール・デコ、そしてモダン・アートからの影響も受けた広告美術は、宣伝の一手法であると同時に、文化、芸術の一部として社会に認知され始めました。それとともに、広告産業、広告文化に関する様々な言説が発表されます。本コレクションは、この 20 世紀初期に出版された広告と広告美術に関する英国の主要著作 8 点を復刻集成するものです。広告ビジネスに携わった者、広告美術を手がけたアーティスト、美術評論家など多様な著者による入門書、実践書から理論書や歴史書まで含み、それらの中には合計 100 点近いカラー図版を含むこの時代の広告図案サンプルも収録されています。広告研究、デザインやグラフィック・アートの歴史をはじめ、英国の大衆文化史、消費文化史、そしてモダニズム研究の資料としても大変有用な資料集です。

編者より

菅 靖子

第一次世界大戦後の「狂騒の 20 年代」（Roaring Twenties）は、イギリスにおける「広告の黄金期」でもある。戦後の不況のなかで財布のひもを締める人々にたいして、広告はこれまで以上に積極的にアピールする必要があった。このように、広告は「大きな経済力」とみなされたが、特にその視覚的な求心力は注目の的となった。この時代、芸術の商業的な役割を追求する『コマーシャル・アート』誌が創刊され、19 世紀末にイギリスで創刊された美術雑誌『ステューディオ』の誌面でも 1920 年代半ばには、「今はポスターの時代である」と広告がトピックとして登場する。これは 19 世紀に社会の美化を唱道したアーツ・アンド・クラフツ運動の影響がまだ色濃く残っていたイギリスにおいて、芸術の社会的な役割を説く中で、広告の芸術化によってこれを実現したいと考える人々が増えていったことと関係している。本コレクションは、そうした時代の広告および広告と芸術の関係について、広告ビジネスに携わった者、広告を手がけたアーティストなど多様な著者がまとめた同時代の著作 8 点の復刻版である。広告製作の入門、実践から理論、歴史まで、あらゆる側面を扱う文献が多数の図案サンプルなどとともに収録されており、この「広告の黄金時代」の英国社会、文化、芸術を読み解くための貴重な資料集となっている。



1924. Drawings, by Horace Taylor, used in the Advertisements of Masters' Army and Navy Matches.

アメリカ近代広告の成立

【復刻版】 全 6 巻

Library of Advertising

Compiled and edited by **Axel Petrus Johnson**, Advertising Manager, The Chicago Record-Herald

2009 年 6 月刊行 本体セット価 ¥118,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-122-8

全 2,139 頁 (図版カラー 2 点 + 白黒多数) ■ 底本 1913 年刊第 2 版 (Chicago: Chicago University of Commerce)

アメリカの広告業は 19 世紀前半より新聞広告を中心に始まり、1840 年代には初めての広告代理店がフィラデルフィアで開業、1860 年初頭に既に 20 以上の代理店がニューヨークだけでも存在したとされています。19 世紀後半には、ハーバース、ヴァニティー・フェア、レイディーズ・ホーム・ジャーナルなどの雑誌が次々と創刊され、全米市場に流通するこれらの媒体を得た広告業も飛躍的にも発展します。一方、大衆・消費文化の隆盛とともに、デパートなど小売業者も広告を重視し、シアーズ社や米国近代広告の父と称されるワナメイカー社主ジョン・ワナメイカーなどが、新聞の全面広告やダイレクト・メールを積極的に利用し、事業を拡大します。

20 世紀になると 1906 年にニューヨークで第 1 回広告展が開催され、広告の時代 “The Age of Advertising” が幕を開けます。この頃になると、広告を科学的に分析する運動も始まり、1908 年には今日も読まれる Truman A. DeWeese 著 *The Principles of Practical Publicity* が発刊、1917 年には The American Association of Advertising Agencies が結成されます。

このように広告の近代理論が盛んに論じられ始めた 1910 年初頭に編集されたのが、今回復刻の *Library of Advertising* です。広告活動の拡充を図る実業者や、これから広告業を目指す学生を主たる読者として企画された本書は、前述 Truman A. DeWeese をはじめ 60 名以上の専門家がそれぞれの項目を執筆、広告の基本的理論から新聞、雑誌などの媒体の特徴、市場、商品毎の手法、メール・オーダー、トレード・マーク、ショウ・ウィンドウのディスプレイ、映画などの利用、米国在住の外国人への広告、日本やアジア諸国への広告等々、理論から実践まであらゆる側面が全 6 巻に扱われています。執筆者の大半は、広告代理店、新聞・出版社の広告営業、デパート、小売業、製造業などの広告担当者で、広告図案や写真などの図版も大量に用い、この時代の広告を極めて具体的に論じています。



CONTENTS

Volume 1: [340pp.]

Fundamental Principles / Advertising Mediums

Introduction, by A. P. Johnson,

Volume 2: [405pp.]

Methods of Appeal / Outdoor, Street Car and Miscellaneous Advertising / Medium and Publications (continued) / Type

Volume 3: [361pp.]

Department Store and Retail Advertising

Volume 4: [293pp.]

Show Window Display and Specialty Advertising

Volume 5: [384pp.]

Advertising Different Lines of Business

Volume 6: [332pp.]

Selling Advertising and Advertised Goods / Selling and Advertising American Goods in Foreign Countries



AN ELEGANT CHIFFON \$3.95 PANAMA DRESS SKIRT

FINE PETTICOAT FREE
We have a special sale for our best
ladies apparel dept. we will sell 10-
100 elegant Chiffon Panama skirts
exactly like picture at \$3.95 and we
will give free a new and beautiful
each skirt a fine muslin petticoat
with beautifully embroidered ruffles.
This exquisite dress skirt is made
of extra quality chiffon Panama
in popular and latest pointed style.
It is perfectly trimmed all around near
bottom with dainty wide, low
-edge fold of satin and three charm-
ing attached down folds of satin in
harmonious. Pleated seams exqui-
santly stitched to its length, then
skirt expands gracefully to sweep
of 135 in. Eternally tailored, fits per-
fectly and beautifully, becomes either
stout or slender figure. Size 22 to
39 inches around waist; 36 to 43
inches down front. Colors, black,
navy blue or medium brown.

THE FREE PETTICOAT
we give with each skirt at \$3.95 is
fine light weight, fast black mus-
lin, made with extra wide hem-
stitching and bordered ruffle, dori
ruffle and draw string. Lengths
36 to 43 inches.

SEND \$1.00 DEPOSIT
Give measure around waist,
waist to knee and skirt front from
skirt band to bottom and size
of neck, state color of
black, navy blue or brown
petticoat will send you
the elegant Chiffon Panama
petticoat O. D. by express,
subject to examination. The fol-
lowing prices, \$2.95 and express charges you pay the
agent after you need

the skirt and petticoat, perfectly
satisfactory, as well as styling
surpass as you ever saw and the
equal of any skirt and petticoat
sold by our house at \$3.95. If not
satisfied we will return it at
our expense and we will return it
and your \$1.00. Order
today or write for one of our
FREE SPECIAL FASHION BOOK
which contains a 100 of
elegant pictures of men and
women's latest fashions, coats,
costs, caps, skirts, suits, etc.,
and numerous suggestions of dainty
men and knitted underwear and children's and in-
fant garments at startling low prices. We are lead-
ing in special **FURS OF ALL KINDS** at below whole-
sale prices. Full
line in special **DRY GOODS**. We sell dress goods,
suits, linens, hosiery, hair goods, and dry goods and notions
of all kinds at one half retail dealer's prices. If you want
to write for free Dry Goods and Notion Catalog
JOHN M. SMYTH CO.

万国風刺漫画大全

第3期：戦間期の世界

【復刻集成版】全3巻＋別冊

Caricatures and Cartoons: A History of the World 1921-1930

■編集・解説■ 橋本順光（大阪大学文学部）

[British Satirical Periodicals of the Nineteenth Century Series IV]

2018年11月刊行 B5判・1620ページ上製 本体セット価 ¥138,000-（＋税） ISBN 978-4-86166-196-9

- 世界各国で発行された雑誌、新聞の風刺画コレクションのシリーズ第3期は、第一次大戦終戦から10年間の戦間期を対象にし、世界35か国で刊行された約360紙誌から、*The Review of Reviews*『評論の評論』誌に転載された4700点以上の風刺漫画を集成。
- アイルランドやインドでの独立運動など、大英帝国の没落と米ソの台頭が顕著となるこの時代、欧米のメディアだけでなく、インドの *Hindi Punch*、中国の *North China Herald*、日本の『大阪パック』などアジアも含めた各国のプロパガンダとしての風刺漫画が増す一方、20年代前半の政治的な小康状態を反映し、解放された女性たちやそのファッションを揶揄する漫画や、チャップリンのような映画スター、アインシュタインのような科学者やスポーツ選手が風刺の対象として登場、漫画のスタイルも今日の表現方法に近づき大きく変化してゆく。
- 20年代後半になるとファシズムを生む要因の一つとなった移民問題を風刺する漫画なども増加し、ムッソリーニに続いてヒトラーが登場、短かった平和の時代の終焉と第2次大戦へ向かう世界が、この風刺漫画コレクションを通して視覚的にはっきりと読み取れる。



Judge
Tramp: "I'm darn glad that I haven't any home to go to!"



■好評既刊■ 第1期：世紀転換期の世界 全3巻＋別冊

Caricatures and Cartoons, 1890-1905: A History of the World

B5判・約1,200頁 本体セット価 ¥118,000-（＋税） ISBN: 978-4-86166-186-0

在庫僅少

第2期：戦争の世紀の幕開け 全4巻＋別冊

Caricatures and Cartoons: A History of the World 1906-1920

B5判・総1,970頁 本体セット価 ¥148,000-（＋税） ISBN: 978-4-86166-195-2

在庫僅少

ファシズムの時代を諷刺した世界各国の雑誌・新聞漫画約 3,200 点を収録

万国風刺漫画大全

第4期：第二次大戦へ向かう世界

【復刻集成版】全3巻＋別冊

Caricatures and Cartoons: A History of the World 1931-1940

■編集・解説■ 橋本順光（大阪大学文学部）

[British Satirical Periodicals of the Nineteenth Century Series V]

2020年10月刊行 B5判・総約1,660頁

本体セット価¥ 138,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-197-6



- 19世紀末から1940年までの世界の風刺画コレクションシリーズが完結。
- 第4期では、第二次世界大戦前の10年間を対象に、世界38か国で刊行された約380紙誌から、*The Review of Reviews*『評論の評論』誌に転載された3,200点以上の風刺漫画を集成。
- 欧米の主要な全国紙だけでなく地方紙やその他諸国でも数多く諷刺されたヒトラー、ムソリーニ、日本の軍事主義、日中戦争、カンジーとインド独立運動などに関する世界各地の風刺漫画が満載。
- 政治問題に加えて、経済、貿易、教育や文化芸術、女性や人種問題など戦前期の国際社会のあらゆる側面を映し出した視覚資料集。
- シリーズ全13巻で1890年から半世紀の諷刺漫画18,000点以上を収録。



第4期収録漫画の主な風刺テーマ

- ・ ナチスの台頭・ファシズム・共産主義
- ・ 大恐慌の拡大・死の商人・大英帝国の衰退
- ・ アジアの諷刺漫画（中国のサバジュ・インドのシャンカー）
- ・ 日本の軍事主義化・日中戦争・カンジーとインド独立運動
- ・ 国際連盟・軍縮会議
- ・ 反ユダヤ主義・人種問題
- ・ ヘルリンオリンピック・スポーツ
- ・ 映画・性・検閲
- ・ モダンな女性・社会風俗など

minstrel show と音楽 —アメリカ初期資料集成—



【復刻集成】全4巻＋別冊日本語解説

Minstrel Shows and Songs, An Archival Collection of Early American Books and Documents

編集・解説：ウェルズ恵子（立命館大学文学部教授）

2019年12月刊行 B6 & B5判・全約1,600頁 ISBN: 978-4-905211-12-9 本体セット価 118,000円（＋税） ※80部限定出版

- 音楽、寸劇、舞踊を交えた娯楽で、黒塗りの白人が演じ、19世紀アメリカ合衆国の芸能と大衆文化、その後のステレオタイプな黒人像に大きな影響を与えた初期 minstrel show に関する初の一次文献集。
- アメリカが急速な変化を迫られていた時代に誕生、大流行し、以後、ポピュラー音楽や映画などに影響を与えたこの芸能が、どのように成立し、後世への方向性を定めていったのかを検証する。
- 「ディキシー」の作者であるダン・エメット (1815-1904) らが創設した初期の人気劇団バージニア・ minstrel ズの楽譜、絶頂期を代表する劇団で作詞作曲家スティーブン・フォスターを世に出したクリスティーズ・ minstrel ズのソングブックに加え、当時のアマチュア劇団のマニュアル、初期の歴史解説書を多数の図版も含め収録。

●収録文献●

Volume 1 : Songbooks Part I (B6判・約450頁)

Introduction

Christy's Plantation Melodies, Book No. 1-4. Philadelphia, New York, Boston, Baltimore: Fisher and Brother, 1854, 284p

Christy's New Songster and Black Joker. New York: Dick & Fitzgerald, 1863, 79pp

Christy's Bones and Banjo Melodist. New York: Dick & Fitzgerald, 1867, 76pp.

Volume 2 : Songbooks Part II (B6判・約430頁)

Christy's and White's Ethiopian Melodies. Philadelphia: T. B. Peterson & Bros., [1854?]

1. *Christy and Wood's New Song Book*, 95pp. / 2. *White's New Illustrated Melodeon Song Book*, 82pp. / 3. *White's New Book of Plantation Melodies*, 79pp. / 4. *White's New Ethiopian Song Book*, 84pp. / 5. *Whites's Serenaders' Song Book*, 84pp.

Volume 3 : Manual & Guide Books (B5判・約500頁)

Dumont, Frank. *The Witmark Amateur Minstrel Guide and Burnt Cork Encyclopedia*. Chicago & London: M. Witmark & Sons, 1899, 176pp.

Powell, Herbert P.. *The World's Best Book of Minstrelsy*, Philadelphia: The Penn Publishing Co., 1926, 319pp.

Volume 4 : History and Sheet Music (B5判・約350頁)

Paskman, Dailey & Sigmund Spaeth. "*Gentlemen, Be Seated!*": *A Parade of the Old-Time Minstrels*. New York: Doubleday, Doran & Company, 1928, 313pp.

Old Dan Emmet's Original Banjo Melodies. "My Old Aunt Sally" & "O Lud Gals Me etc." Boston: Chas. H. Keith, 1843, 6pp. [Sheet Music]

Virginia Minstrels: *The Celebrated Negro Melodies*. "Ole Dan Tucker." Boston: Geo. P. Reed, 1843, 4pp. [Sheet Music]

Virginia Minstrels: "Jim Crack Corn." Baltimore: F. D. Benteen, 1846, 3pp. [Sheet Music]

Virginia Minstrels. Playbills [Broadside]

JOSEPHUS ORANGE BLOSSOM

Allegretto

PIANO

My name it is Jo-se-phus Or-ange Blossom, I'm the
gay-est Col-ored Gem-man in the land, With the
pret-ty girls I al-ways plays the Pos-sum, in a

34

アメリカ黒人霊歌

19～20世紀初頭文献復刻集成 全4巻＋別冊日本語解説

American Negro Spirituals

【編集・解説】 ウェルズ恵子（立命館大学文学部）

2012年刊行 総約1,500頁 本体セット価：¥95,000-（＋税） ISBN 978-4-905211-02-0

- アフリカ系アメリカ人とその文化を理解する上で欠かせない黒人霊歌の、展開と受容・研究の歴史を、貴重文献により辿る初の復刻コレクション。
- 文献として記録された最初期の南北戦争の時代から Fisk Jubilee Singers が成功した 19 世紀後半、白人研究者が登場した 1910 年代までの流行期まで、最も重要とされる文献を精選。
- 文学、歴史、音楽史研究のみならず、エスニシティ、宗教、大衆文化、社会運動、文化人類学、民俗学の研究にも有益。

【収録文献】

VOL.1:

Thomas Wentworth Higginson, *“Negro Spirituals” The Atlantic Monthly*, Volume XIX (June, 1867).

- ・エミリー・ディキンソンの最初の詩集を編集出版した Higginson (1823-1911) による、黒人の生活と歌の関わりを伝えた最初の報告であり、黒人民謡における宗教歌の重要性、文学としての価値を社会に知らしめた記事とされる。37 曲を掲載。

William Francis Allen, Charles Pickard Ware and Lucy McKim Garrison, *Slave Songs of the United States*, New York: A. Simpson & Co., 1867.

- ・三人の編著者が採録したり、他から提供を受けたりして収集した計 136 曲を掲載したアンソロジー。音楽に関する専門的興味に基づいて編纂され、黒人霊歌の文献として最も重要である。隔離性が高かった奴隷歌を地域に分けて編集した点に、黒人の言葉への深い関心と体系的な歌の保存を目指した編者の意図が表れている。

G.D. Pike, *The Jubilee Singers and Their Campaign for Twenty Thousand Dollars*, Boston: Lee and Shepard. New York: Lee, Shepard and Dillingham. 1873.

- ・テネシー州フィスク大学の黒人学生の合唱隊ジュビリー・シンガーズ (The Fisk Jubilee Singers) が結成された時代背景および成り立ちや学校の運営資金を得るために実行した講演の苦難と栄光を描く。著者は、解放奴隷の高等教育が可能で、それによって国に明るい未来が期待できる、というメッセージを掲げている。巻末に合唱団の黒人霊歌レパートリー 61 曲を楽譜とともに収録。同合唱団は欧州、日本にも巡演して好評を博している。

VOL.2:

Marshall W. Taylor, D.D, *A Collection of Revival Hymns and Plantation Melodies*, Cincinnati: Marshall W. Taylor and W.C. Echols, 1883.

- ・黒人起源の聖歌と白人の賛美歌とを区別なく掲載し、最初の奴隷解放から約 30 年たったアメリカ社会での、黒人文化の理解と受容の度合いを、浮き彫りにするアンソロジー。20 世紀に民俗音楽学者から批判をされた編集方針だが、黒人の地位向上を目指した著者の理想を体現しているといえる。

J. Frederick Work, *Folk Songs of the American Negro*, Number

One, Nashville: Work Bros. & Hart Co., 1907.

- ・書名に Folk Songs (民謡) とあるが、黒人霊歌の古典曲を定着させたフィスク大学のワーク兄弟が収集し、編曲を施した歌唱用の聖歌集。

VOL.3:

J.B.T. Marsh, *The Story of the Jubilee Singers, with supplement; Containing an Account of their Six Years' Tour around the world, and many of their New Songs*, by F.J. Loudin. 1881, Cleveland: The Cleveland Printing & Publishing Co., 1892.

- ・パイク版ジュビリー・シンガーズ伝 2 著を基にした増補改定版。新たに 78 曲を加え、索引も付記するなど歌集として使いやすくなっている。北米と英国、ドイツ訪問の部分が 1881 年にまず出版され、1882 年から 1888 年までの世界公演旅行を加えたものが 1892 年に刊行された。

VOL.4:

Henry Edward Krehbiel, *Afro-American Folksongs: A Study in Racial and National Music*, New York: G. Schirmer, 1914.

- ・19 世紀後半から 20 世紀初頭にかけてのアメリカを代表する音楽評論家書いた、アフロ・アメリカン民謡の全体を扱おうと試みた研究書。アフロ・アメリカンの民謡がアフリカの音楽でも白人からの借り物でもなく、アフリカの伝統をくんだアメリカ独自の音楽であり、黒人がアメリカ文化の生成に寄与しているとした。20 世紀初頭としては、黒人と白人とを同じ「国民」とみなした点で革新的、斬新であった。

John Wesley Work, *Folk Song of the American Negro*, Nashville: Press of Fisk University, 1915.

- ・音楽、文学、社会、民俗という複数の視点から総合的に黒人霊歌に分析を試みた最初の研究書。一章と二章でアフリカン・デアスポラとしての歌、三章から民謡として捉えた歌を論じる。

Gospel Pearls, *Edited and Compiled by Music Committee of the Sunday School Publishing Board*, Nashville: Sunday School Publishing Board National Baptist Convention, 1921.

- ・163 曲を楽譜とともに収録する初期のゴスペル歌集で、編集委員にワーク兄弟を含む。1900 年代、1910 年代に著作権がとられた歌も多く、新しい聖歌も続々と作られていたことがわかる。

ファン誌選集コレクション

6タイトル・合本3巻＋別冊日本語解説

FUN - A Collection of Books from the Victorian Weekly Magazine

【監修・解説】新井潤美（東京大学）

2010年1月刊行 本体セット価¥58,000-（＋税） ISBN 978-4-86166-126-6

総約1,050頁（ほぼ全頁に図版入）/サイズ：B5判

『パンチ』のライバル誌『ファン』掲載の諷刺画、漫画、記事を精選した
6タイトルを復刻集成

本書の特色

- ‘Poor man’s Punch’ または ‘Funch’ と称され、ヴィクトリア朝の諷刺雑誌『パンチ』としのぎを削った『ファン』誌の編集部が、雑誌の全盛期 1870-80 年に雑誌掲載のカリカチュア、漫画（カートゥーン）や諷刺記事を選び出版した、精選集6点を復刻集成。
- 『パンチ』より低所得者層を対象読者として1ペニーで販売された週刊誌で、よりリベラルな編集方針のもと1861年より約40年間にわたり刊行が続き、特に今回復刻される諸選集が編まれた70年代には、発行部数も2万部に上ったとされる。
- 当初『パンチ』誌用の図版製作に携わっていた著名な彫版工ダルジエフ兄弟が1870年より出版者となり、トム・フッドを編集長に、アンブローズ・ピアス、G・R・シムズなどの諷刺作家を執筆者に起用し、なかでもサヴォイ・オペラの作者W・S・ギルバートが本誌に深く関わったことが広く知られている。
- 『ファン』誌を所蔵する図書館は極めて少なく、『パンチ』に比し今まで研究対象とされることは少なかったが、今回は雑誌全盛期編まれた主要精選集を復刻し、そのエッセンスを研究・教育用に提供する。
- 英国19世紀文化・社会史研究を初め、西洋漫画史の資料としても重要な文献。

■収録明細■

VOLUME 1: c.490 pp.

Preface by Megumi ARAI

The Essence of Fun with 250 Pictures, Selected and Arranged by Tom Hood

London: The “Fun” Office, 1872, c.255 pp.

The Cream of Fun with 250 Pictures, Selected and Arranged by Tom Hood

London: The “Fun” Office, 1873, c.220 pp.

VOLUME 2: c.250 pp.

The British Working Man by One who does not Believe in him and other

Sketches, by J. F. Sullivan, Engraved by Dalziel Brothers

London: The “Fun” Office, 1878, c.115 pp.

The British Tradesman and Other Sketches including The Complete Builder, by J. F. Sullivan,

London: The “Fun” Office, 1880, c.120 pp.

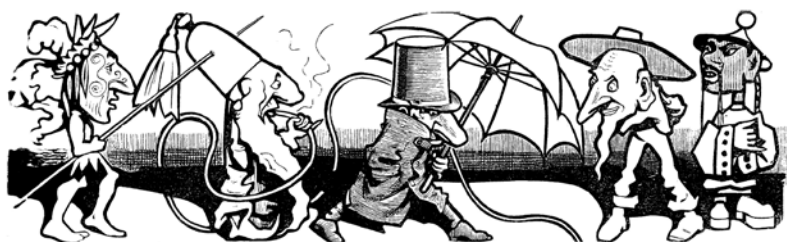
VOLUME 3: c.300 pp.

One Hundred Cartoons from the Pages of Fun

London: The “Fun” Office, 1880, c.100 pp.

The Extract of Fun, A Cordial for Young and Old with Hundreds of Comic Illustrations

London: The “Fun” Office, [c.1800] c.200 pp.



マリオ・プラーツ編

文学、歴史、芸術の饗宴 全 10 巻・2 回配本

English Miscellany: A Symposium of Literature, History and Arts
Edited by Mario Praz

Reprint of the Complete Collection of Articles in English and Selected Writings in Italian by Mario Praz

■監修・解説■中島俊郎（甲南大学） ＊監修者による和文解説書が別冊として付いています。

第 1 回配本（1950 年 -1965 年）・全 5 巻

2007 年 9 月刊行 本体セット価 ¥98,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-19-2

第 2 回配本（1966 年 -1983 年）・全 5 巻

2008 年 9 月刊行 本体セット価 ¥98,000-（＋税） ISBN 978-4-902454-20-8

本書の特色

- 現代ヨーロッパを代表する著述家マリオ・プラーツ（1896-1982）が 1950 年から 30 年間、編集を主幹した定期刊行誌に掲載された英語論文約 230 点（プラーツ自身によるイタリア語論文を含む）を収録
- 中世、ルネサンス芸術からモダニズム文学まで、文学・歴史学・哲学・宗教学・美学・美術史・ヴィジュアルカルチャーなど人文学すべての領域を横断する画期的な論考を集成

※収録文献の詳細は、<http://www.aplink.co.jp/ep/4-902454-20-8.html> でご覧いただけます。

…すぐれた翻訳者になるためには、文化の障壁をのりこえ、二重のアイデンティティを自らのなかに獲得しなければならないが、プラーツは、文学、文化研究の越境、横断を、個々の文学テキストの翻訳よりもさらに大きなかたちで実践してみせた。その集成が 1950 年から 1982 年（没年）にかけて発行された『イングリッシュ・ミセラニー』（English Miscellany）である。

その意味で『イングリッシュ・ミセラニー』は編集主幹であるプラーツの研究手法、深度、範囲をみごとに反映している。ロマン主義を中心にした美意識の変遷、イギリス、イタリア文学における影響関係、テキストの遡源追究、文学と視覚芸術の照応、歴史と文学のインターテクスチュアリティなどが主たるテーマであったが、プラーツの知己、友人、俊英たち！が寄稿した論文、エッセイはいずれも水準を凌駕し、いかんなく「プラーツエスコ」（prazzesco）を発揮し、発展させている。だから他には見られない執筆者の充実ぶりも本誌の特徴になっている。ボナミー・ドブレ、W. H. オーデンのエッセイと若き日のヘイドン・ホワイトの論文が同時に掲載されているような研究誌がほかにあるだろうか。

「イタリア通信」（『ロンドン・マーキュリー』）というコラムのなかで、小さな声を英語圏の読者に対して初めて発したプラーツは、『イングリッシュ・ミセラニー』全 30 巻という、端倪すべからざる広大な森をつくりあげた。文学研究の沈滞化がささやかれる今日こそ、その森のなかでくりひろげられている饗宴の声に耳を傾けるときではあるまいか。

—甲南大学文学部教授 中島俊郎「編者のことば」より—

